

	書名	読んだ人数	トータル	平均
41	最悪の事故がおこるまで人は何をしていたのか	19	54	2.842105
42	9.11生死を分けた102分	17	66	3.882353
43	カブールの本屋 - アフガニスタンのある家族の物語	15	59	3.933333
44	物乞う仏陀	10	47	4.7
45	神の棄てた裸体 - イスラームの夜を歩く	7	30	4.285714
46	バタフライハンター - 10のとても奇妙で素敵な仕事の物語	15	43	2.866667
47	地図に見る日本	21	66	3.142857
48	人口から読む日本の歴史	10	23	2.3
49	塩の道	24	76	3.166667
50	日本の歴史をよみなおす	7	22	3.142857
51	戦国時代のハラノムシ	20	63	3.15
52	ヨーロッパに消えたサムライたち	7	25	3.571429
53	江戸の大普請 - 徳川都市計画の詩学	9	25	2.777778
54	江戸城が消えていく	5	17	3.4
55	江戸お留守居役の日記-寛永期の萩藩邸	11	29	2.636364
56	元禄御畳奉行の日記-尾張藩士の見た浮世	11	28	2.545455
57	お家相続-大名家の苦闘	18	55	3.055556
58	桶屋一代江戸を復元する	11	34	3.090909
59	“きよのさん”と歩く江戸六百里	4	10	2.5
60	武士の家計簿	17	67	3.941176

最悪の事故がおこるまで人は何をしていたのか

著者名	ジェームズ・R・チャイルズ	発行年	2006年
出版社名	草思社	ページ数	420ページ
値段	2,300円	ISDN	978-4794215383

圧力逃し弁だ！ 最後に気づいた男がスリーマイル島の原発事故を救った。計器の針を揺らすわずかな徴候から真相を探りあてようとする努力は、歴史家の営みにも似て。

読者投稿欄

コメント登録	コメントだけを登録する
お勧め度	
読んだ場所	例：1-120ページ、上250-中50ページ
読んだページ数と時間	ページ () 分
立ち読みポイント	例：55-58ページ、下257-260ページ
コメント	

投稿者	読んだ場所	コメント
投稿時間	読んだページ数と時間	
お勧め度	立ち読みポイント	
じゃがいも	9-130,261-293,139-169,171-169,171-202,233-259	人類の生存を脅かすレベルの大事故(になりかねなかった事例も含む)の、原因を分析した本。複雑かつ破壊力抜群のシステムを当たり前のように運用する今だからこそ、失敗が置きた時に「それみたことが原子力は危険だ」とか「ずさんな管理云々」と感情的になるのではなく、予兆がいつどんな形で現れるのか、回避出来るチャンスはど
2008/08/18 19:53:27	144P (120分)	

	どこも面白い	ここにあったか、検証して行くことが大事だと感じた。その意味で、ニュースでは埋もれがちが回避できた事例も逃さず盛り込んでいる点が好感。この本は個人的に買うと思います。
さっく	139-202、261-293、	ん～説明が少々難しいような。読みやすい本ではない気がしたので飛ばし読み。読んだページ数が少なかったこともあり、筆者の主張はいまいち伝わってこなかった。
2008/08/15 17:03:43	97P (90分)	ただ多くの事例が載っているので、しっかりと読めば学べることも多いかも。
	171-202	
鱒鮭	399-426	内容全般が鬱なものになりそうだったので、比較的鬱じゃなさそうな最終章をつまみ読み。
2008/08/11 17:21:48	28P (10分)	なんとも、危機管理について考えさせられる話でした。
SBM	1-58	自分の専門と思いきり被るので興味を持った反面、事故ったらこんな形で後世に残ってしまうのかと考えさせられました。
2008/08/04 08:56:39	58P (60分)	ただ、感想にあがってるように、事例数は多過ぎな気がします。
sufjan	パラパラ	
2008/07/22 15:13:24	12P (30分)	いっぱい事故ってる。 チェルノブイリには行きたくねー
	295 - 298	
男爵いも	1-30,233-239,231-250	事例があまりにも多すぎる上に、まとまりがない気がした。
2008/07/16 14:16:54	55P (40分)	50もの事例を通してなにが言いたかったのかよくわからなかった。
	28	
のり子	9-30,171-202,331-343,375-385	> 事故索引があったらもっと読みやすいかもしれません。(ivaneさん) 確かに！ 私もこの本を手にとったときは、あの有名な事故はなぜ起きたのか？ということが知れるのかと思って選んだのだけれども、期待と内容はちょっとずれてた。
2008/07/15 13:11:40	78P (90分)	事例という区切りで読みたい人には、全くもって不親切。 もくじの章タイトルも、事故名、事故の要因、事故を防ぐ方法が、ばらばらに並んでいるから、どうまとめたいのか不明瞭だなと思った。
		まとめ方は批判したいが、事故の原因となるヒューマン・エラーを起こさないための方法や心構えの内容は、身につまされるものがあった。
	192ページ	特に、192ページの 「テストの結果が悪い人間は、自分の成績と技量を極めて過大に評価している」「知識よりも無知のほうが自信を生むことが多い」 という言葉が耳に痛かったっす。
mizuhara	8-202	僕は最初から読みましたが、どこから読んでも大丈夫だし、一章だけ読んでも大丈夫だと思います。危機意識の薄さ等から、大きな事故に結びついてしまう様子が、細かく書かれています。
2008/07/08 12:47:55	195P (160分)	ただ、複数の事件が並列して書かれて

		いたりして、ちゃんと集中して読まない と分からなくなってしまう。全 体的にちょっと難しめです。
SOUTHERN (° Д °) !	139-169, 399-426	最後に、「マシンとの共生」という言 葉がでてきますが、僕は共生という生 ぬるい言い方に疑問があります。自然 との共生という言葉が死語となっ たと同様の理由です。共生ではすま ないのが現実で、すでに現在はマシ ンとの戦いでありマシンをいかにコ ントロールし事故を防ぐか、という 段階にきているのだと僕は思います。 共生なんていっているといつの間に かマシンに人間が振り回される本末 転倒な事態になりかねないと思いま す。・・・なんてえらそうなことを 少しいってみたいくなったりして・・・w
2008/06/27 10:51:23	59P (60分)	
	第四章	
ivane	9-30,195-202,233-240,331-348ページ	章が12もある上に、1つの章の中に いくつもの事故が紹介されているの で、とても長く感じてしまいました。 実際400ページ以上あるんですが・・・ また、扱われているケースが裏表紙 に載っているのですが、それが本のど こに書いてあるのかを調べるのに目次 と裏表紙を見比べなくてはならないの でとても不便です。事故索引があつたら もっと読みやすいかもしれません。
2008/06/17 09:50:31	56P (60分)	
	裏表紙	
かごしま	9-30ページ、59-95ページ	この本では、ジャンボ機、原子力発電 所といった巨大システムで起こった巨 大事故のケース、または事故になる一 歩手前で防がれたケースを紹介し、シ ステムの問題を考えています。
2008/06/02 16:43:47	59P (70分)	各章ごとに異なるケースを紹介して おり、1章単位で楽しめるとおもいま す。
	59-62	ただ、読んでみて、僕には科学的な説 明が多少難しく感じられました(サ ラッと読んでいたことと、僕の科学知 識の欠如も原因だとは思いますが)。 ということで、多少真剣に読まない と内容がよく理解できないかもしれま せん。
Nimrod	P.1-138 と、P.399-426	タイトルから想像されるに、「事故 を起こした人間の愚かさ」というテイ ストで書かれているのかと思いきや (大半は実際そうなのだが)、中には 未然に防がれたもの、そこに居合わ せた人の聡明な判断力にも焦点を当て ている点が画期的だった。本文でも言 及されているとおり、ニュースなど では起きてしまった事故と、後付けの ような非難と責任追及しか行われな い。阻止できた悲劇についてもちゃん と描かれているという点では、この 本はとてもためになった。
2008/06/02 14:33:31	165P (90分)	だが、それぞれの事故の検証があま りにも専門的すぎ、あまりぴんとき なかつたのが残念。ほとんどは実感 がわ

	第12章	かず、ひたすら単調だった。
メルハバ	9-30、139-202、427-429	「なぜ」事故が起きたのかを多くのケースによって考察した一冊。大事故というのは突然生まれるのではなく、小さなミスや適当さから生じたわずかな歪みから生まれているということを知りました。将来多くの人が研究や開発といった分野に携わる東工大生にとっては非常に大事なことだと思います。大事な内容が書いてある（と思う）この本なのですが、事例が多すぎる上に内容が少し単調で、もう一章読もうと思ってたんですがやめてしまいました。この本をもとにヒストリーチャンネルでシリーズになってるようで、そっちを見たほうが良いんじゃないかと思ってしまったのでこの評価です。
2008/06/02 13:04:03	88P (60分)	
	9-30	
P-ball	59-138 , 171-280	ヒューマンエラーによる事故の再現番組とか結構好きなのでタイトルに惹かれました。 未然に防ぐチャンスがあったにもかかわらず様々な要因から防ぐことができなかった事故、普通の判断なら絶対に起こさないような事故など衝撃的な内容でした。 ただ、似たりよった事例を並列して書いてあるのが少々読みにくく感じました。 章ごとに事故原因が同じ事例を多く挙げているのだが事例が多すぎて少々飽きてしまいました。
2008/05/19 23:39:37	190P (120分)	
	233-237	
yew	97-138	「早くしろ」という圧力に屈して、検討すべき問題を楽観視し、看過する。スペースシャトルの打ち上げという国家的巨大プロジェクトでさえ、そのようなことが起こる。いや、むしろ世間の耳目を集める一大プロジェクトだからこそ、と言うべきだろう。 「脳化」された近代社会では、「スケジュール」というものが強大な権力を握っており、スケジュールの主体であったはずの人間は、気づいたときにはスケジュールに隷属しているのだ。人間の愚かしさが堪能できる一冊。
2008/05/12 22:28:08	42P (60分)	
	97-99, 137-138	
みけもどき	1-202	「事故の前兆に気づいても無視してしまったり、最悪の状況を想定しなかったりするから、大事故がおこってしまう。」 大事故なんて人事のように思っているけれど、明日は我が身かも知れないということに気づかされました。
2008/05/10 14:36:00	202P (120分)	
	97-101	
ジョコビッチ	1-293	さまざまな事故について、その発生原因を考察している。 気の緩みやほんのわずかなミス、そして事故の前兆に気付かないと、大事故につながるようである。 しかし、内容が単調で、途中で飽きてしまった。
2008/05/07 11:03:20	293P (200分)	

しゅーくりーむ	1-70	正直あんまりおもしろくなかった。というより少し気分が優れなくなりました。電車の中で読んでたのでこのページ数を読んだのだけでも、そうじゃなかったら、最初の方でやめてたと思います。内容は、事故の経験者の後日談とかではなくて、本当に何でこの事故が起きたのか？を淡々と話す感じ。自分はこういう感じのは怖くなってしまって気分が優れなくなるのでこの評価です。ごめんなさい
2008/04/28 14:06:46	70P (50分)	
石川です。	1-12、399-429	
2008/04/25 19:20:18	42P (60分)	1 2 章 最悪の事故を食い止める人間について。 多数の大惨事の事例では警告メモは効果を発揮しないなど、実際に起きた状況でないといけないことが描かれています。危機管理について考えさせられました。
	414-417	

[TOPへ](#)

9.11生死を分けた102分

著者名	ジム・ワイヤー & ケヴィン・フリン	発行年	2005年
出版社名	文藝春秋	ページ数	358ページ
値段	1,800円	ISDN	978-4163674308

いったい何が起きたのか。誰にも分からない大混乱のなか、100階建てのツインタワーから逃げるための15000人の戦いが始まる。数百名の証言で織り上げた、あの瞬間。

読者投稿欄

コメント登録	コメントだけを登録する
お勧め度	
読んだ場所	例：1-120ページ、上250-中50ページ
読んだページ数と時間	ページ () 分
立ち読みポイント	例：55-58ページ、下257-260ページ
コメント	

投稿者	読んだ場所	コメント
投稿時間	読んだページ数と時間	
お勧め度	立ち読みポイント	
アイを叫んだケモノ	145-381	高層ビル群で生活する私たちが考えなくてはならない重要な課題。 メディアを通じて状況を把握した私たちには、明らかに危機感が欠如している。 テロに関しては様々な意見があろう。しかし、テロにせよ、自然災害にせよ、被害を拡大させているものは都市の持つ高度機能そのものであり、大きなリスクと隣り合わせで日々を過ごしていることを忘れてはならないと思った。 濫読を機に調べてみよう、どうなっているんだろうと思えること
2008/08/17 19:46:16	236P (190分)	

	311-318	が重要なんだろう。
みずち	1-381	ドキュメンタリー番組とかでも指摘された構造上の欠陥、杜撰な避難誘導が重なった上での惨劇・・・好奇心から読んだものの後からずしんとくる悲しみと苛立ちが押さえられなくなった。普通だった塾の先生が爆発当時にいたらしいけれど下層にいたために助かったという話も相まってこんな悲劇は二度とおこらないようにとただただ願うのみです
2008/08/16 12:43:35	381P (150分)	
さっく	47-81、107-131、307-354	現場の混乱した臨場感が伝わってきた。あの日、ニュースの生中継でW T C が崩れていく映像を見たときの衝撃を思い出した。そしてあの中でこんなことが起こっていたかと考えると恐ろしさと悲しさでたまらなくなった。時間があれば、他の章ももっと読みたかった。
2008/08/15 17:10:46	108P (120分)	
	107-131	
パトロン革命	1-27, 67-81	そもそも濫読していい本なのかどうか悩んでしまいました。母の知人がちょうど勤務していて、その日はたまたま遅刻したためにビルの低階層にいたらしく、運よく助かった（間に合っていれば上層階に登っていたそうです）話を思い出してぞっとしてしまいました。人間の文明の儚さを感じました。
2008/08/14 15:46:25	42P (30分)	
	67-81	
鳩会社元社員	1-66,145-191,331-378	濫読ということで、両タワーに飛行機が衝突する章と、最後に南タワーが崩壊する章を読みました。テレビ等で多く報道されていること以外にも、驚く話が多々ありましたが、それ以前に感じたことは文章として読みにくかったことです。また今回読んだわずかなページ内でも、いくつかのタイプミスが見られました。登場人物も多く（もちろん）名前はカタカナなので、集中して読まないと話についていけなくなると思います。
2008/08/14 00:15:06	161P (120分)	
	331-378	
Nimrod	P.1-218 , P.247-330	ブラウン管の中の出来事を、タワーの内部から観察することのできる稀有な書物。 一機目の飛行機の突入後、もう片方のタワーに居た人々の逡巡が最も目を惹きつけられた。「こっちのタワーは平気だよ、仕事に戻りな」と言い放ち、避難する人々を上階へと戻した警備員や上司。事後に考えれば最悪の誤りだが、W T C の担っている職務を考えれば当然のことなのかも。 そしてこんな風に、テロに巻き込まれた人々の物語を見聞きし、思いを馳せてしまう我々の心理は何なのだろう。被害者への追悼・哀悼の念か。高見の見物による優越感か。
2008/08/12 18:05:09	272P (150分)	
	P.107以降	
まるきん	1-70	102分で生死が分かれる現場に立ち会うことは、正直御免こうむりたい。 大勢の人が出てきて混乱しがちで途中でやめてしまったが、洋書に慣れた人なら面白くよめるのでは？
2008/08/05 12:34:22	70P (45分)	
	40-50	
石川です。	1-144	登場する人間が多くて混乱するけど、読みすすめると臨場感がとてもある。
2008/07/29 03:29:42	144P (200分)	
モンモンモン	1-381	登場人物が多すぎて、話を全部理解するのは難しいです。また、翻訳が直訳っぽくて少し違和感を感じます。 ワールドトレードセンターの構造上の問題、避難経路の問題、警察消防士との連携の悪さなど、9・11の被害は様々な原因が複雑に絡み合った結果とのこと。 テロや天災は、いつ自分の身に降りかかってくるのか分からないので、できるだけ被害を抑えられるような意識を持つべきですね。 その前に、9・11のようなテロが二度と起きないように祈るばかりなんです...
2008/07/14 10:12:47	381P (360分)	
hiro	1-150	実際に事件に遭遇された方々の証言を元に作成されたものなので、事件当時の、緊張感が伝わってくるような気がする。平和な日常だった光景が、テロによって一変する様子はすごかったです。勢いにまれて、どんどん読んでしまいます。カタカナの登場人物が多数登場するので、誰の話か時々混乱するのがつらいところです。
2008/07/01 14:48:07	150P (150分)	

ivane	1-378の約半分	飛行機がワールドトレードセンターに衝突してから崩壊するまでの経緯が時系列に述べられています。
2008/07/01 09:45:56	189P (120分)	本自体はとても長いのですが、登場人物が数百名と出てくることからわかるように話が非常に細かく分かれているので、かいつまんで読んでも十分読めるものだと思います。
	19,43,152ページ	本のなかには、みずほやモルガンスタンレーなど、よく聞く会社の話が頻繁に出てきます。将来金融機関に務める予定の方はより身近に感じられるのではないかと思います。
モンモンモン	1-200	たくさんの人の証言をもとに書かれたドキュメンタリー本。緊迫した様子が伝わってきます。
2008/06/28 16:48:19	200P (120分)	
ひさひさ	132-218ページ	被災時の状況をありのままに書いている本．もし自分があの場にいたら...と考えるとぞっとする．
2008/06/14 12:46:21	87P (100分)	
メルハバ	1-381	9.11の出来事について飛行機がぶつかる前から崩落後までを時々刻々とつづっています。この事件によって多くの犠牲者が出ましたが、その犠牲者達の多くは飛行機が突撃したことよりも警察と消防の不仲や、資本主義にとらわれたビルの構造や設計（また大して根拠のない「このビルはボーイング707でも倒すことができない。」という言葉固く信じてしまったこと）によって生まれたという事実は忘れてはいけない教訓であると思います。また、事件に巻き込まれた民間人がただ逃げ出すのではなく、互いに助け合って1人でも多くの人々がビルから脱出できたことには胸を打たれました。
2008/06/02 12:23:10	381P (150分)	
	247-269	
特になし	1-226	当時の状況をありのままに描いていて、感動を得るために誇張している部分なども見当たらず、真のドキュメンタリーとして読めました。
2008/05/14 12:53:51	227P (240分)	
	40-200	
すみただ	37-378	「建物が崩壊するまでに避難できなかったがために、少なくとも1500人余りの人々が死亡した」という事実を今後の教訓としなければならぬと思う。実際には飛行機が突入してきたフロアより下にいた人々の大半が避難できる時間があり、犠牲者の数をはるかに抑えられた。本書では、語り継ぐべきは消防隊員や警察官の働きばかりではないと言わんばかりに、ニューヨーク市当局及びニュージャージー港湾公社が部外秘としておこなった緊急連絡の記録に言及している。緊急事態に対応しようとしたにも関わらず、通信障害や命令の混乱などに大きく行動を阻まれた様子が描写されている。ニューヨーク市当局は「消防隊員はビル崩壊の情報を知りながらも救助に当たるためにビル内に留まった」としているが、状況証拠からも「消防隊員に完全に情報が伝わっていなかった」ことは明らかである。また、建物の中にいた大半の人々は高層ビルに対し信頼感を持っていたが、実際には経済効率のために避難路の確保や耐火構造の検証を致命的なまでに軽視していた。このビルの建設は、非常階段が同時に寸断された場合、上層にいる者がどのように脱出したらいいかということを考慮しないまま、「大型旅客機が激突しても倒れない」と謳っていた。階層の上にいた被害者は逃げ場を失い崩れる床や天井の下敷きになった。これらの悲劇の教訓こそが最も後世に伝えるべきである、ということが本書の最大の趣旨である。
2008/05/13 01:17:38	342P (500分)	
	311-321	

しゅーくりーむ	1-76	この本はおそらく大きく分けて3部に分けられています。 1 棟目が飛行機がぶつかり、2塔目にもぶつかるまでの間 そこから崩れ始めるまでの間 崩れ始めた後 全部読んでないので分かりませんが今まで読んだ感じだとこんな 感じかなと思います とにかく一部（2塔目にもぶつかるまでの間）が結構長いので忘れ ないうちにとも含めてコメントを記載します まだこの段階ではそれほど悲壮感はありません 9.11の悲劇の中にあるにもかかわらず、仕事＞壊れるわけ無いと いう過信の人々がたくさん。 命＞仕事であるのは当たり前であるが、仕事＞多少の事故とみんな は思ってるよう それだけ何が起きたかことの大きさが分からず、ビルの安全構造 上、どっかの階で爆発が起きたとしても他の階への影響なし（少 しネタバレになりますが、このビルは仮にプラスチック爆弾みた いな強力な爆弾を持ってきて爆発させたとしても、その階だけが 壊れて他の階影響なしみたいです）。というのが彼らにとっての 定説のようです もし自分がそんな状況にいたらどうするのだろう、いやどうでき るのだろうかと考えさせられるいい本です とてもおもしろく全部読みたいなと考えている途中で すかなりお勧めします
2008/04/29 20:12:54	76P (90分)	

カブールの本屋 - アフガニスタンのある家族の物語

著者名	アスネ・セイエル スタッド	発行年	2005年
出版社名	イースト・プレス	ページ数	356ページ
値段	1,800円	ISDN	978-4872575781

アフガニスタンの首都カブール。当地ではそこそこ裕福な部類に属する一家庭に女性ジャーナリストが寄寓し、ブルカをかぶった女たちと寝食をともにして、ゆっくりゆっくり気持ちを聞き出した。このまことに稀有な取材を、ていねいに再構成することで、男たちの自負、女たちの忍耐のそれぞれが徐々に焦点を結んでくる。タリバン以後の、この社会における暮らしのありよう、幸せのかたちは？

13人の家族の世話を一手に引き受け、土埃舞う部屋で黙々とタマネギ炒めをつくる黒い瞳のライラの運命にどうか耳を傾けてください。

読者投稿欄

コメント登録	コメントだけを登録する
お勧め度	
読んだ場所	例：1-120ページ、上250-中50ページ
読んだページ数と時間	ページ () 分
立ち読みポイント	例：55-58ページ、下257-260ページ
コメント	

投稿者	読んだ場所	コメント
投稿時間	読んだページ数と時間	
お勧め度	立ち読みポイント	

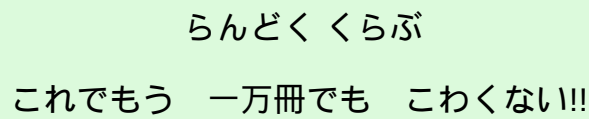
ロマンチストの資格	1-122,217-238	テロやタリバンというぐらいの認識でしか知らないアフガニスタンの生活を見れる意味でこの本は面白かった。それぞれの立場の実際の人物たちの考え、行動をそれぞれの立場で各章ごと述べているため、多角的に考える材料になる。 主人公の本屋スルタンがアフガンの未来のために教科書を作るという考えなど、本屋が知的で先進的な関心をもって経営している一面を見れた。一方で、ライラの話にもあるように、男女の差、身分の差で不当な扱いをされる社会でもあり、前述のスルタンもその中のひとりだ。 タリバン政権後の今、アフガンの社会で、何を変え、何を残すのか。考えさせられた。
2008/08/18 14:06:29	144P (200分)	
	13章	
sufjan	1-155	アフガニスタンでは男尊女卑が激しい。 ほんとにかわいそうになる。 昔の日本はこんなだったのかな
2008/08/18 10:29:54	155P (180分)	
	5章	
ksk	11-1921,22,28,29,30,44,45,46,62,63,64,100,101,102,116,117	ドキュメント風。 ためしに各章の頭と尻尾だけ読んでみたが、意外と内容が理解でき、読み進めることができた。
2008/08/11 14:52:42	25P (30分)	
みけもどき	11-28,46-61,218-238,344-373	女性ジャーナリストがアフガンの首都カブールで本屋を営む一家と生活を共にして、彼らの生活を記録したものです。 私は女性が自己主張もできずに耐え忍んでいる状況に違和感を感じましたが、逆にアフガンの人々から見たら私たちも奇異に映るのだろうなと思いました。 女性蔑視が×で、男女平等が○とは単純に言えないんだなぁと複雑な気分になりました。
2008/07/30 08:58:57	85P (70分)	
	19章	
シマウマ	プロローグ、1, 3, 9, 19章	こういう状況を知ってしまうと、例えその土地の文化を否定してでもいわゆる西洋的民主主義を根付かせるべきだと考えてしまうのは自分が西洋的民主主義に毒されているからなのだろうか？ と考えてしまいました。
2008/07/22 11:32:44	70P (60分)	
	3章	

sugar	1-373	訳書にしてはこなれた文体で非常に読みやすかったです。 女性蔑視の文化が根強く残っている土地で 女性が生きていくということは本当につらいだろうと思う。 だが、アフガニスタン女性のつらさには 同情を感じつつも強い怒りを覚えるほどではなかった。 私にとっては遠いかの地の女性たちの苦しみよりも、 彼氏や男友達から性的暴力を振るわれて、 「親しい間柄だからこそ、そう簡単に告発できない」 と耐えて悩んでいる女友達の方が身近だ。 わが身に近づけて考えるには アフガニスタンは距離的に文化的にあまりにも遠い。 アフガニスタンでは現在でもまだ公然と女性蔑視の風潮が残っているのだろうと思う。 一方、日本では、ある程度男女平等が進んできたように見える。 しかし、日本もアフガニスタンも、 親しい間柄の男性と女性との間で暴力が振るわれているという 構造は同じなんだな、と思う とやりきれない。 こういうことを考えさせられた1冊だった。
2008/07/17 03:03:18	373P (300分)	
結花	1-373	参与観察をしたからこそできる、事細かな人物や出来事の描写が、彼らの生活に染み込んだ悲しい現実を描き出す。 どんな生活をアフガニスタンの人たちがしているのかを、 実際に見るよりも有益なほど書かれているのだ。 私たちにとってありえないことが彼らにとっては当たり前。 共感なんてできない。しかしそんな私でも涙が出るほどの悲しみ・絶望がはびこった日常がそこにはある。 心からの幸せを彼らがつかめるのは何年先の話なのだろうか？
2008/07/09 16:12:05	373P (300分)	
	322-335	
crystel	11-367	実際に旅行してもわからないような、 アフガニスタンの人々の生活の深い部分まで描写されており、 非常に興味をそそられる内容だった。

2008/07/04 06:56:54	357P (360分)	この本を読めば、異なる宗教的・文化的なバックグラウンドを持つ人々とコミュニケーションを取る際に、そのバックグラウンドの違いを意識することの大切さに気づくと思う。 なぜなら、私たちの常識では計り知れないような考え方をもっているからだ。
		この本は小説風に描かれており、 またとてもタイムリーな話題を取り扱っているので、ぜひ、読むことをお勧めする。
knennnn	11-122,136-216,240-254,318-373	ノンフィクションですが小説っぽい書き方なので読みやすいです。
2008/06/23 12:29:58	265P (240分)	1つの家族の日常の中にアフガニスタンの社会、文化や歴史が入っていて、本を読んでその家族を身近に感じるというのは大事なことなんじゃないかと思いました。
	150-166	
さっく	1-373	アフガニスタンについては、ニュースを通してのことしか知らなかったので、アフガンにおけるイスラムの掟やある意味それに縛られることになった人々の生活ぶりなどを知ることができとても興味深く読むことができました。
2008/06/16 12:36:10	373P (300分)	
	45-62,117-122,217-238	
モンモンモン	1-367	アフガニスタンでの男尊女卑の様を具体的に綴ってある。一番切なく書かれてある人物は、ライラという女性。13人もの家族の家事を押し付けられているため、一番早く起きて一番遅く寝る、という生活を余儀なくされている。本人は「好きな人に求婚されて、こんな生活から開放されたい!」と思っているが、自己主張をする勇気がなく...。
2008/05/27 18:35:25	367P (300分)	他にも、たくさんの人物に関する話があり、お勧めスポットは人それぞれだろうが、全話通して、アフガニスタン社会の理不尽さを誰しもが感じると思われる。
		著者は、世界で最も男女差別の無い国の一つであるノルウェー(あとがきより)出身のジャーナリストらしい。最初ヨーロッパで出版された頃は、男女差別に関して日本語版以上にキツイ表現で書かれてあったとのこと。個人的には、そっちを読みたい。

メルハバ	11-373	タリバン政権なんて単語はニュースやなんかでよく聞いていたけど、実際どんなものなのかはこの本を読むまで知らなかったの、いい勉強になりました。典型的な無教徒の自分にとっては驚くような文化は多々ありましたが、特に女性の扱いには、こんなにも理不尽な文化があったのかと驚きを隠せませんでした。タリバン政権も倒れ、いい意味でもっと平等な社会が訪れればいいなと思いました。
2008/05/17 14:51:53	363P (180分)	
	22-28	
ポンプUno	1-367	アフガンの人々は皆傷つけられている。しかし一方で、一部の人間(の都合のいいよう)に作られた歴史や文化に毒された結果、他人を傷つける加害者にもなっている。男性から酷い差別を被っている女性でさえ、年を経るごとに若い世代を抑圧する立場に変貌していき、一族の体面のために娘を平気で殺す母親まで現れる。 皆、歴史や文化の網にかかって抜け出せずに、互いを攻撃しあっているわけだ。 この本が示している一番の悲劇はそこにある気がする。 また、「アフガンは酷いけど、日本ではこういうことはありえないだろ」と軽くとらえてしまいがちだ。しかし、資本主義陣営にいる私たちも同じように、疑うべき因習に気づけず、知らず知らずのうちに悪しき文化の手先になっているかもしれない。 月並みな意見ではあるが、背後に隠れているものを見ようとする姿勢を、常に保っていることが大事なんだと思い知らされた。
2008/05/14 15:35:47	367P (300分)	
	なし	
のり子	1-367	著者の主張を押し出した書物ではなく、アフガニスタンの一家族の生活が物語として描き出されている。このような書きかたのおかげで、アフガニスタンの外側にいる人々が感じる不条理な事柄の説明や、不条理だという主張の正当性についてではなく、アフガニスタンに暮らす人々の悲しみを感じることができると思いました。
2008/05/13 13:16:47	367P (360分)	

パトロン革命	1-367	いまだに戦火の絶えないパキスタンやアフガニスタンに住むある家族をとりまく社会やその人間模様を描いた作品。あくまでもいち中産階級の家族に焦点を当ててはいますが、たどってきた道のりの陰しさを垣間見ることができました。実際に密着取材を行ったから実現できたリアルな表現だと思います。特に印象的だったのが女性の暮らしぶり。礼儀作法からライフスタイル、身につけるものまですべてを細かく決められていた彼女たちの気持ちを、全てではないにしてもこの作品を通して知ることができました。今でこそ男性と女性が同じ空間で当たり前のように活動していますが、それが許されなかったイスラム世界・・・年功序列、男尊女卑がまかり通っていた世界・・・。その真っ只中にいる少年少女の複雑な心境が切ないほどに伝わってきます。
2008/05/10 13:30:16	367P (150分)	
	124-126	



揭示板

著者名	石井光太	発行年	2005年
出版社名	文藝春秋	ページ数	251ページ
値段	1,650円	ISDN	978-4163677408

コメント登録	コメントだけを登録する
お勧め度	
読んだ場所	例：1-120ページ、上250-中50ページ
読んだページ数と時間	ページ () 分
立ち読みポイント	例：55-58ページ、下257-260ページ
コメント	

投稿者	読んだ場所	コメント
投稿時間	読んだページ数と時間	
お勧め度	立ち読みポイント	
ぜんまい	1-267	これが現実か…………（流川楓の言葉を借用）
2008/08/18 00:16:45	267P (180分)	現実になんかこういうこともあるんですね、とどうしても他人事になってしまいます。 アジア各国の乞食や障害者にまつわるドキュメンタリー。
		幸福な話もあればどうしようもない話もある。 危うきに近づくかないのは君子ではないなあ。

シマウマ	全部	とにかく、作者（日本）の価値観がいかに（その場所では）正しくないかを認識させられた。コミュニケーションについても深く考えさせられた。まあその前に読みすすめるのがつらいのですが（苦しくて）。
2008/08/12 21:03:47	267P (250分)	
	8章	
石川です。	1-267	物乞いでお金を多くもらうために手足を切断されて、マフィアに利用されてしまう現実が今もあるということに日本って平和だと思った。
2008/08/10 22:20:46	267P (450分)	
	227	
特になし	1-267	物乞いが職業として考えられている世界というものに衝撃を受けました。
2008/08/04 14:13:12	267P (240分)	よく日本人がここまでアジアの裏の面（？）を調べて無事に帰ってこれたものだなとも思いました。
	219-260	
ひさひさ	10-39	最初の部分しか読んでいないが、物乞いには物乞いの生活や考え方があって、必ずしも辛くて仕方がない生活ではないことがわかった。
2008/07/22 14:51:56	30P (20分)	
アイを叫んだケモノ	28-260	目の当たりにした体験をもとにして、いくつものショートストーリーで構成されている。どのページからも話しに入っていきやすく短時間で読みきってしまった。
2008/07/15 15:09:25	232P (120分)	この本を見て、自分たちがどれだけ恵まれているかを改めて感じることは素直な意見だろう。しかし、さらに一歩踏み込んで、貧しさを生み出しているシステムについて歴史的な背景から語っている部分や、障害者の生活の描写から読み解く必要はあると思う。
	108-126,142-155	
Www	1-262	最初の方だけ読んで濫読するつもりで借りたが、おもしろすぎて全部読んでしまった。アジアの先天的な障害者のみに目を向けた所が新しいと感じたし、作者自身の行動のし方が好きだ。自分にはないものを感じ取った。
2008/06/17 11:29:18	262P (200分)	
	1章と2章	
camel	10-116	
2008/05/30 13:40:26	107P (90分)	http://www.kotaism.com/ も合わせて見てみてください。
	87	
ivane	9-40,73-106,157-188,219-262ページ	インドにいつか行こうと思っていたので、旅行の参考になるだろうぐらいの軽い気持ちでインドの章から読み始めましたが、あまりの内容の重さに衝撃を受けました。
2008/05/27 08:28:04	142P (80分)	読んでよかったというのが素直な感想です。自分がただ影響されやすいタイプだけなのかもしれませんが。
	175-179ページ	スリランカの章の後半に日本の福祉についての記述があります。そこを立ち読みポイントとしてあげました。
白猫	1-140,157-188,219-270	歴史物？ 現在のアジアの諸国の様子を描写した作品。 現在を語るには歴史もからんではくる。 全部で8章から構成されている。 が、1-7章と最後の8章では扱うものが全く違う。 最初の1-7章では、アジア圏の物乞いを取り上げている。 特に、障害をもつ人間に焦点をあてている。 現地には障害者があふれてる。 先天性の異常だけでなく、 地雷や戦争により手足を失ったもの・・・ 日本には障害者はいないのか、と錯覚してしまうが、 そんなはずはない。 一体どこにいたのだろうか。 障害を持ちながらも楽しく生活するもの、 悲惨な生活を強いられるもの。 日本は幸せな国だと考えさせられる。 第8章はインドの障害者の話。 痛く、苦しい話が記されている。 日本に生まれてよかった、 と思う小さな自分が実感できる。
2008/05/07 13:04:31	214P (180分)	
	158-188,220-260	



神の棄てた裸体 - イスラームの夜を歩く

著者名	石井光太	発行年	2007年
出版社名	新潮社	ページ数	295ページ
値段	1,500円	ISDN	978-4103054511

印税すべてを握りしめ、彼は再び旅へ出る。28歳になっていた。
またしても、凄まじい現場へ、強靱な精神力で立ち向かってゆく。

読者投稿欄

コメント登録	コメントだけを登録する
お勧め度	
読んだ場所	例：1-120ページ、上250-中50ページ
読んだページ数と時間	ページ () 分
立ち読みポイント	例：55-58ページ、下257-260ページ
コメント	

投稿者	読んだ場所	コメント
投稿時間	読んだページ数と時間	
お勧め度	立ち読みポイント	
sours	1-75, 113-129, 164-180, 183-198, 257-310	イスラム世界の社会的弱者たちの現実を垣間見ることができる本。 彼らと我々の間にあるギャップに、ただただ無力感を感じてしまう。
2008/08/18 07:24:32	179P (120分)	
パトレーゼ	13-75	前書きに、「私たちのイスラム社会の理解は男は過激派、女はイスラムの戒律によって抑圧されているくらいのものだ」というような内容のことが書いてあり、そこまでひどくはないだろ！と思ったのですが、本書を読むとやはり何も知らなかったんだなと痛感させられます。

2008/08/14 17:39:29	63P (30分)	しかし、ここで挙げられているような最底辺の人々の暮らしに対する私たちの無知は、なにもイスラム社会に限ったことではないのではないのでしょうか。日本でも日雇い派遣やネット難民など、漠然とイメージでしか理解していない暮らしが沢山あると思います。
		この本の内容は素晴らしいと思います。取材もしっかりしているので。しかし、現在の日本における最底辺の暮らしをルポする類いの本があるならば、ぜひそちらを（も）課題図書の方に入れていただきたいと思いました。
yossie	1-3、257-310	今、川崎市の路上生活者に対して支援を行っている団体のお手伝いをしているため、本書の路上の絆という章に興味を魅かれ、読みました。一般生活のルールを外れ、宗教の戒律すら通用しない、路上生活者の中だけのルールがあり、著者がそこに踏み込んで何か自分に出来ることは無いかと模索していく様子にドキドキしました。これを読んだ人が考え・行動を起こすことで著者の意志を汲むことが出来るのではないかと思います。
2008/08/12 15:15:47	57P (120分)	
	257-310	
アイを叫んだケモノ	1-310	研究のための研究では見えてこない体験だと思う。
2008/08/07 14:46:30	310P (280分)	ただ、作者が関わることでなにかしらその環境に変化を与えているということに対する自覚とその分析があるとより魅力的な内容だったと思う。
	第三章（砂漠の花嫁）	
さっく	1-310	そこにある現実、遠い世界のことに思えて、自分とは関係のないことのように感じるかもしれない。
2008/05/20 12:41:26	310P (270分)	知ってもつらいだけ、到底理解できるものではないかもしれない。
	全部読むべし	しかし、筆者が書いているように、まず知ることから始まるのだと思う。先入観だけで考えたり、ものを言ったりするのは大きな間違いで、人がいかに傲慢で無力かを痛感させてくれる。
シマウマ	1-310ページ	
2008/05/07 19:36:19	310P (250分)	重いです。ひたすら作者（と読者）がなにも理解していないことを痛感させられます。
	46-59	
のり子	1-310ページ	アジアや中東で、女性や子供や同性愛者が売春をする。
2008/04/25 02:16:02	310P (360分)	こういった話や状況は、なんとなくイメージしていましたが、
	255-308ページ（第五章）	この本を読んで、本当は何も分かってなかったという恥ずかしさでいっぱいになりました。

バタフライハンター - 10のとても奇妙で素敵な仕事の物語

著者名	クリス・バラード	発行年	2007年
出版社名	日経BP社	ページ数	332ページ
値段	1,800円	ISDN	978-4822246105

たとえば「スカイウォーカー」。スパイダーマンのように自在に高所での作業を行う元海兵隊員は、外壁コンサルタント。強靱な身体能力と、悲惨な生活乗り越えてきた精神によって、超高層ビルの清掃や修理をおもしろがってやっている。

たとえば「筆跡探偵」。筆跡というより、むしろ「脳跡」。心に直結するのぞき穴を調べ、裁判の証拠資料にしたり、性格や人物の分析をしたり。

どれも親が聞いたら反対するだろう仕事ばかり。でも、ほんとに楽しそう。

自分の天職って何だろう？ それを探すヒントにどうぞ。

読者投稿欄

コメント登録	コメントだけを登録する
お勧め度	
読んだ場所	例：1-120ページ、上250-中50ページ
読んだページ数と時間	ページ () 分
立ち読みポイント	例：55-58ページ、下257-260ページ
コメント	

投稿者	読んだ場所	コメント
投稿時間	読んだページ数と時間	
お勧め度	立ち読みポイント	
goran	232-259	あまりに話が現実離れしすぎていて、どこまで本気なのかわからなかった。
2008/08/18 23:48:46	28P (15分)	
	なし	

purebred	52-78,108-141	目玉職人！ という言葉にひかれて読んだ。 格闘技をやっている人ならわかるが、日本で最も有名な格闘家も試合中サミングを受けて失明し、義眼だ。 そんなことを思い返しながら読んだが・・・ 読んでみてください。
2008/08/18 23:26:37	61P (40分)	
	52-78	
パトレーゼ	108-141	「10のとても奇妙で素敵な仕事の物語」と副題がついており、その中に「鉄道模型制作者」という章があったので手に取りました。 鉄道模型を自作したりジオラマを作ったりということは、日本ではあんまり珍しくないのだから（だからといってメジャーということもないが）、どういうことかと思いましたが、なんだ、やはりそういうことでした。 アメリカではそういうことは仕事にしにくいのか、日本はマニアが制作したものをマニアが買うという市場があって喜ばしいことなんだ、と変に感心しました。
2008/08/14 17:21:28	34P (15分)	
SBM	232-259	興味のある仕事について読めるが、仕事の紹介というよりは雑誌のインタビュー記事って感じでした。 仕事内容についてはそこまで深く突っ込んでいるわけではないです。
2008/08/13 09:21:56	28P (45分)	
Www	52-77	1章ごとが細かく分かれており読みやすかった。題名が面白そうな「目玉職人」を読んだがじつにユニークな人物だと思う。自分の職業(義眼師)の説明の仕方も相当工夫したのだろう。とにかく自分の仕事に誇りと自信を持っている気がした。
2008/08/11 18:43:57	26P (20分)	
	52-77	
ksk	257-261,327-334,340-346	ぱらぱらと拾い読みするのも楽しい。
2008/08/11 14:45:01	19P (20分)	
	声のセールスマン	
しゅーくりーむ	声のセールスマン アメフト伝道師	10の中から特に面白そうだった2つの話を特に声のセールスマンお勧め 時間が合ったら他の仕事も読んでみようかなと
2008/08/07 15:04:14	68P (40分)	
	声のセールスマン	
つけめん	各章5ページずつ	いやー、俺には真似できんw
2008/07/22 15:19:25	50P (40分)	
	筆跡探偵	
Nimrod	「序」「声のセールスマン」	文章全体が雑感の日記のような形で、すんなりと読めた。 何気に一番面白かったのは序章の、筆者が掃除機のセールスマンをやっていたときの話。この導入で、「ああ、やはり仕事には向き不向きが大きいんだなあ」と思った。 「声のセールスマン」は、自分が映画好きだけに面白い話題が多かった。なんと彼はダースベーダーの声までやっていたそう。
2008/07/22 11:11:04	48P (30分)	
	神の声を持つ男、「ラフォンティーン」	
パトロン革命	4-141, 166-231, 260-343	意外すぎるほど奇抜な職業があり、読みごたえ十分でした。翻訳版だからか少しぎこちない表現があったものの、英語らしい表現が残されている部分もあり、読んでいて楽しかったです。仕事に対する考え方が素直に書かれている点では、就活前にこれ読んどいてよかったかも、という気持ちにな
2008/07/14 20:16:41	288P (180分)	

	324-325	りました。
SOUTHERN (° ㇏ °) !	294-335	1 0の仕事についての特殊な素敵で人生の物語。
2008/07/03 11:07:09	41P (60分)	まあ僕みたいにカテゴリーがかけ離れたやりたい仕事がいっぱいある夢見る少年には歩めない人生だと思う。
	294-335	
yew	1-107, 166-259, 294-343	現在のリクルート業界は、学生が「自分にピッタリの」職を見つけるために澆刺と「シューカツ」をすることを称揚する。だが適職なんてものはそのようなポジティブなアクティビティによって得られるようなものではない。
2008/06/03 14:43:58	251P (180分)	ある人物に適した職業とは、その人物が抱える欠落の表現に他ならない。天職についているように見える人は、その仕事をしたいというよりは「せざるを得ない」のだ。
	49-50	この本には、そのような人間の「欠落」の多様性が書いてある。
さっく	1-124	どのひとも、仕事に対する姿勢はまさに理想的。
2008/05/20 12:49:00	124P (120分)	こんなふうに生きることができたらきっとすばらしいだろう。
	52-77	と思う反面。自分の生き方はきつこうはならないんだろーなーという気持ちを読んで常にある。ごく一握りの人にしか当てはまらない生き方なのか。
は る ゆ き	1-51ページ、294-340ページ	表題からもわかるとおり、この本では少し変わった職業に就いている人たちに対しインタビューを行い、如実に記録した本である。
2008/05/06 16:56:14	96P (90分)	今回目次の中で特に目を引いた「スカイウォーカー」と「バタフライハンター」の二つの職業について読んでみたが、正直な感想としては、想像していたよりはどちらも驚くべき職業ではなかった。特に表題にもなっているバタフライハンターは、名前のわりにやっていることはちょっと行き過ぎた昆虫学者であって、少し期待はずれに終わった。
	1-51ページ	ただ文体としては、くだけた文章で非常に読みやすく章ごとに完結しているため、濫読するには最適の本だともいえる。特に読みたい本がない人は、ボーっとこの本を読みながら将来の仕事について考えてみるのもいいかもしれない。
かごしま	1-51ページ、108-165ページ、260-340ページ	人は3種類に分けることができる。 ——自分の仕事を「労働」とみている人、 「キャリア」とみている人、 「天職」とみている人 —— (本書第5章より)
		この本では、自分の仕事を「天職」だとみている、 ■特殊な仕事■をしている人々について

2008/05/05 15:19:00	190P (180分)	中期的に何回かインタビューを行い、それをある程度まとめたものだ。 取り上げられている人々は非常に個性的な人々だ。 だからこそ、私はこの本を読んで、共感を得ることがほとんどできなかった。 さらに、全体を通して抑揚が感じられず(私にも問題があるのだろうか)、 正直「つまらない」という印象だった。
	260-293ページ	おすすめするとしたら、 第9章「アメフト伝道師」 熱い気持ちになれるかも。。。。。

地図に見る日本

著者名	海野一隆	発行年	1999年
出版社名	大修館書店	ページ数	194ページ
値段	2,600円	ISDN	978-4469232042

半分だけだったり逆立ちしてたり、奇想天外な日本認識コレクション。すべて見開きの右が地図、左がコンパクトな説明なので、展覧会気分で見回れる。なぜか近代になって正確になるほど、つまらなく見えてくるから不思議。

読者投稿欄

コメント登録	コメントだけを登録する
お勧め度	
読んだ場所	例：1-120ページ、上250-中50ページ
読んだページ数と時間	ページ () 分
立ち読みポイント	例：55-58ページ、下257-260ページ
コメント	

投稿者	読んだ場所	コメント
投稿時間	読んだページ数と時間	
お勧め度	立ち読みポイント	
つばき	1-75	卒論で古地図が好きになりましたので。 地図っていろんな発見あって面白い！！
2008/08/18 22:00:32	75P (40分)	
tormenta	70-71、112-113	講義中でも地図からいろいろなことを読み取りましたが、改めて地図は地形のみを表しているのではないんだなぁ・・・と思いました。 といっても、4ページしか読んでいないのですが。 その地図が作られた当時の技術、関心、情勢や国交な
2008/08/18 11:14:23	4P (3分)	

	なし	どまでも地図から推測できるなんて・・・すごいですね。
ODN	地図	地図だけ見ました． いろんな形をした日本が見れて面白かった． 西洋人の書く地図のデザインがカッコいいなーと思いました．
2008/08/18 00:58:53	60P (10分)	
アイを叫んだケモノ	8-145	近代の地図の精度は素晴らしいと思う。 しかし、だからといって昔の地図を精度が低いというだけで評価してはいけない。 場所への感覚や思想がストレートにあらわれている地図もありそういった点では表現が統一されている地図よりも人間味はある。 地図を見て、解説を見て、自分の考えを立ててみるということをやってみたら面白かった。
2008/08/17 20:02:54	138P (100分)	
	36-37	
ミソカツ	地図をパラパラと	北海道がいつ現れるんだろうと思っていたけれど、北海道は日本じゃなかったんですね。 伊能忠敬の地図は制作方法と出来上がった地図との対応などが面白い話だった。 海の線画で表現し、波の動きまで表現してるあたりが実に海に近い島国の日本らしいです。文字の表記もどこことなく小判を思わせたり思わせなかったり。
2008/08/17 04:20:04	85P (15分)	
	141	
鱒鮭	3-45	倭国に対する認識というものが、国によって地図の描き方に差があるなあと、はっきり見れてなかなか興味深かった。
2008/08/11 15:01:48	43P (20分)	
人生迷走中	3-195	地図のページだけ見ていきました。 なので、内容はよく分かりません。
2008/08/11 08:22:33	90P (20分)	
SBM	149-171	北海道出身なんで蝦夷地について読んでみました。 やはり、本州から人が移住するまでは全くの未開の地だったんですね。 ただ、自分の祖先が松前藩で、北海道の一部も松前という地名になっていたのは知りませんでした。
2008/08/04 09:25:46	23P (30分)	
ひさひさ	7-45	九州が四角くなっていたり，長崎が異様に大きかったりといった，いろんな地図があって面白かった．
2008/07/22 14:55:01	39P (20分)	
読書中	1-197	普段見なれた地図とはまったく違う形の日本地図が満載。地図がたくさん載っているの読みやすかった。 とくに前半部分の外国人が書いた日本地図は、さまざまな勘違いからとんでもない形になっていて、おもしろかった。
2008/07/22 13:08:55	197P (200分)	
crystel	1-14	表紙と中身に大分ギャップがあるように思う。あらためて、最近の地図はすごいなあとと思う。初めてパリ行ったときに、ホテルの場所を確認するために事前に日本でグーグルマップの航空写真を利用して下調べしたことがあるが、実際にパリに着いた時には初めてとは思えないような気分だった。文明の恩恵を感じる。
2008/07/17 22:14:28	14P (10分)	
Www	地図だけ	地図だけを全部見てみた。しっかり読んでので分らないが時代背景による精度の差が大きいと思った。とくにP130の精度はすげ～
2008/07/14 22:50:08	50P (30分)	
	130	
Www	地図だけ	地図だけを全部見てみた。しっかり読んでので分らないが時代背景による精度の差が大きいと思った。とくにP130の精度はすげ～
2008/07/14 22:48:42	50P (30分)	
	130	
Nimrod	P.47-145	当然のことながら、様々な日本像がある。そしてそれぞれに、描いた人々の世界観や日本へのイメージが投影されている。地図という媒介を通して、いろいろな世界観を説明していく文脈は見事。 ただ、授業で紹介されたT Oマップのように、そこまでわかりやすくもなかったのが残念。正直「バカ日本地図」のほうが面白い。

2008/07/03 15:40:52	99P (85分)	それにしてもこの本を読んでふと思ったことは、現代の我々の感覚では明らかに間違っていると思う地図だけど、当時の人々は本気で信じていたんだろうなあ、ということ。とすれば、いま我々が信じている日本の形も、実は情報操作されたニセモノなんではないか、とも思える。だってちっぽけな人間には、天から陸地を見たことなんてないのだから。
	章「ジパング」	
メルハバ	1-197	授業でも取り上げられた昔の人の作った地図の本です。右ページはみんな地図になってるので実質の文字数が少なく、サクサク読めました。地図は大体歴史順に並んでいるので、測量技術の発達ぶりをうかがい知ることができます。今になっては日本の形はあの形以外にありえないけれど、昔の人は自分の足や想像で地図を描くほかないので、彼らにとっては本気だけでも自分達にとってはトンチンカンな地図が満載で面白かったです。そんな中でもやはり伊能忠敬の地図の出来はすごいと思いました。歴史に名を残す人の仕事は一味違うなあ、と思いました。彼にGoogleEarthとか見せたらなんて言うんだろうか。
2008/06/24 12:40:02	197P (80分)	
	地図	
camel	3-95、地図中心	地図がいっぱいなので、単位死守をしたい人には断然おすすめ。
2008/06/23 19:56:26	50P (60分)	90ページで超リアルな地図が出てきたとき、「これこれー！」とガッツポーズをしてしまった。
みけもどき	47-95	西洋人から見た日本地理について書かれた章を読みました。
2008/06/16 18:42:10	49P (40分)	日本が二種類あったり、半島だったり、東西に長かったり…。現在の正確な地図が当たり前と思っている私は、よくも想像でさまざまな日本を生み出せたなと感心してしまいました。
	地図	地図を眺めていると案外どこの地名なのかわかったりして面白い…かもしれません。
SOUTHERN (° Д °) !	1-195	地図がたくさんあって読みやすいです（笑） 例えば、地図だけばらばら眺めてみるだけでも、だんだん知らない情報が削られて、新しい地理的に意味を持つ情報が付け加えられていく感じがわかります。
2008/05/15 11:25:30	195P (240分)	（歴史的順番はバラバラですが何となく） 西洋のものは天使みたいなものがいてあるアート作品という感じですが日本は波がかいてあったりして自然現象の表情を付け加えているものになっていて違いがおもしろかったです。地理的性質を描写していくアート（解析）という点ではやはり最初は合理的な西洋文化が勝っていたのでしょうが（笑）
	地図だけでもばらばら眺めてみては？	日本地図が日本になっていくまでの動きはおもしろいし、北海道の描写の難しさも感じられました。
honyalala	1-95	授業で取り上げられ、かつ地図にも興味があって借りた一冊。読み本としてそれほど面白いというわけではなかったが、16世紀ごろから見る地図は徐々に詳細になるわけではなく、後退していることや、それぞれの国で異なった地図は興味深かった。欧州では、地図にイラストや縁のデザインなどにも気を配っており、見せるあるいは魅せるための地図となっているように感じた。一方で、日本などのアジア諸国では、ワンパターンな装飾が多く、そのような芸術性の要素は薄く、東西文化の違いをここでも伺えた。また、日本においては、立体的・パースで地図を描かれる場合があったが、主に山などの自然が主で、当時の自然への畏怖といった宗教観が考えられる。それとは別に、パリなどで多く見られる建物を主としたパースの地図が見られ、その対照はおもしろいなと感じている。
2008/05/13 01:07:35	95P (100分)	
	扉絵	

鳩会社元社員	2-145	描かれた時代によって、日本を描いた国と日本との関係が地図に表れているのが面白い。 ある地域が巨大化したり、消されたり、方角が変わったかと思えば、空想の地域が現れたり。
2008/05/05 21:27:27	144P (120分)	しかし、必ずしも時間の経過と地図の正確さは比例していないことも興味深い。
	右側のページ（地図）	日本人が描く日本地図では、江戸中期にもなればかなり現代の地図に近いものが描かれているのだと思い、さらに読み進めていったが、ページをめくり伊能忠敬の「大日本沿海輿地全図」が目に入った時はさすがに鳥肌がたった。
エリカ様	6-195ページ	時代が進むにつれて地図が性格になっていくのが普通なのに、17世紀に描かれた地図のほうが19世紀ものより正確だったり。
2008/04/25 18:26:58	190P (130分)	特に中国や朝鮮で描かれたと思われる日本の地図は20世紀に入るまで適当に描いたとしか思えないほどむちゃくちゃ。
	6-11ページ	古代から近世にかけては中国や朝鮮などの諸国にとって日本などそれほど重要な存在ではなかったということか。

人口から読む日本の歴史

著者名	鬼頭 宏	発行年	1983年
出版社名	講談社学術文庫	ページ数	283ページ
値段	960円	ISDN	978-4061594302

3000万人、平均余命30年、それが江戸。都市は巨大な人口調節機構。吸収しては殺すアリジゴク。たんとした描写が恐ろしい。

読者投稿欄

コメント登録	コメントだけを登録する
お勧め度	
読んだ場所	例：1-120ページ、上250-中50ページ
読んだページ数と時間	ページ () 分
立ち読みポイント	例：55-58ページ、下257-260ページ
コメント	

投稿者	読んだ場所	コメント
投稿時間	読んだページ数と時間	
お勧め度	立ち読みポイント	
つばき	13-55	タイトル通りの内容でしたが、もうちょっと刺激的な本のほうが好きです。あまりに統計的なので、、、あたりまえか。
2008/08/18 22:05:21	42P (30分)	
鳩会社元社員	3-46,156-185	人口の変化を表やグラフで綺麗にまとめてあり、とてもわかりやすく面白かったです。特に縄文時代と江戸時代の人口について読みましたが、それぞれの時代によって人口の増減には波があることが分かりました。そして「七五三」にこんなに深意味があったなんて知りませんでした。人口統計に興
2008/08/14 00:17:10	74P (60分)	

	156-185	味がある人はぜひ。 今後の日本の人口はどうなることやら。
SBM	186-216	最近の本にしては文章硬いです。
2008/08/13 09:32:33	31P (50分)	確かに目の付けどころは面白そうですが、同じようなこと書いてある本は他にもあるのであまりオススメまではできません。
エリカ様	1-22,105-240	タイトルを見て興味深いテーマを取り扱っているなと思ひ、確かに興味深い内容であったが文章が何となく難しくて読みにくかった。
2008/08/06 17:19:31	158P (200分)	学科の講義で少子化問題を取り扱っていたためか内容は把握しやすかった。
	なし	
まるきん	1-20	文章が硬い気がして読みにくい
2008/08/05 13:10:07	20P (30分)	なかなかどうしてこんな書き方で出版にOK出たのか謎
	3-5	
みけもどき	13-22,243-275	筆者によると、現代社会における先進国の人口停滞化は工業文明が成熟したということであり、文明転換が起こるということであるらしいのですが、生理的に納得できなかったです。
2008/07/30 10:17:58	43P (40分)	
	特になし	
白猫	111-155、186-201	江戸時代の結婚に関する部分を中心に読みました。
2008/07/02 12:01:07	60P (45分)	女性の初婚年齢が予想以上に低い地域があったり、どういった理由で初婚年齢や出世数が変動するかなどに興味深かったです。
	126-128	全部を読む気にはなりませんでした(汗
じゃがいも	3-5,13-104	着眼は面白い、しかし、退屈する。
2008/07/01 15:50:15	95P (80分)	この講談社学術文庫というのはアカデミックというか、論文臭いというか、資料としては素晴らしいが読みにくい傾向がある。各時代の人口を割り出して歴史を読み解こうとしているが、人口の求め方や細かい数字やら誰そのの調査が云々やら、研究手法を詳しく解説されているうちに、歴史なんかどうでもよくなってくる。我慢して読んだ縄文時代。新しい発見がいくつかあったので読んだかいがあった。2点。
	特に無し。はじめから読めばいいのでは	
メルハバ	3-5、13-22、111-283	日本の歴史を人口の観点から見てみよう！というコンセプトの本です。昨今騒がれてる少子化やら高齢化やらは工業化や欧米化の傾向から考えると当然の結果らしい。
2008/06/24 12:32:10	186P (120分)	自分は江戸と現代のところを読んだんですが、読んだ感触としては内容が内容なものもあると思うのですが論文を読んでいるみtainな感触でした。しかし江戸時代の平均寿命の話や農村部の話などなかなか勉強になる本だと思いました。読みにくかったのですが筆者の情報収集の努力に敬意を表しての　　です。
	227-242	
mizuhara	3-283	全体的に、数字による説明が多くて、教科書っぽくて読みにくいのですが、最後まで読んでしまいました。
2008/06/13 17:34:48	281P (250分)	江戸時代以降についての話が始まってから面白くなります。貧乏人の子沢山という言葉は江戸時代には通用しなかったこと、堕胎や間引きが貧困ゆえに行われていたと言うわけではないこと、人口学という、今まで知らなかった学問の目から見た日本の歴史が見て取れて、興味深いです。
	111-150	でも、オススメ度を2にしたのは、最初から全部読むと、ほぼ確実に飽きると思ったからです、4,5,6章を読むのをオススメします。

塩の道

著者名	宮本常一	発行年	1979年
出版社名	講談社学術文庫	ページ数	192ページ
値段	800円	ISDN	978-4061586772

問：あなたは海辺の民。たくさんできた塩を山の民のもとへと運んで売ってこようと思います。さて、牛と馬、どちらで運びますか？

答：牛

理由：本書 56-59ページ

炉端の古老の昔語りを聞くように、古い日本の生活の断片がゆかしく蘇ってくる。

読者投稿欄

コメント登録	コメントだけを登録する
お勧め度	
読んだ場所	例：1-120ページ、上250-中50ページ
読んだページ数と時間	ページ () 分
立ち読みポイント	例：55-58ページ、下257-260ページ
コメント	

投稿者	読んだ場所	コメント
投稿時間	読んだページ数と時間	
お勧め度	立ち読みポイント	
ミソカツ	152-185	目次を見て興味のあるところから読んでみた。 なぜか全く塩の話が出てこない。 それもそのはず。 塩の道は前半で終わっていたのである。 後半部分だけだと塩について全く触れて
2008/08/17 05:44:05	34P (20分)	
SBM	152-195	

2008/08/15 14:24:50	44P (60分)	なかった。 まあとある日本人論といったところ。 でも読みやすかったです。
パトレーゼ	83-149	日本では戦争をする人と作物を生産する人は別々だった。だから日本の人口は古代から漸増してきた。日本にはゲリラ戦というものは存在しなかった。鎌倉系の武士がいない所では戦争もあり得なかった。
2008/08/14 14:19:13	67P (30分)	こういう話を読むと、今の世界の戦争状態がいかに不幸かということがしみじみとわかります。私が読んだのは2章だけですが、その終わりのところで宮本常一さんが食料問題に関して「命をつないでいくくふうをしよう」と述べています。その意味をもう一度考えなければいけないと思いました。
メルハバ	14-149、206-220	こう書くとすごい真面目で重い本のように思えますが、基本的にはいたって解りやすい民俗学の本です。
2008/08/11 18:01:09	151P (40分)	今日では何気なく使っている塩ですが。そんな塩のルーツを知ることができました。昔はそんな塩の作り方をしていたのかと感心させられました。自分の地元の話もあったので面白かったです。本自体は本を読んでいるというよりもどこかのおじいさんの昔話を聞いているような感触でした。
	20-36	
男爵いも	14-20	塩が神にまつられた例がないのは、なるほどそういう理由だったからか・・・ではお葬式とかでお清めとして塩を使うのはなんでかな？
2008/08/07 07:07:52	7P (2分)	
		歴史の漫画の最初のほうに塩の作り方が書いてあったんですがそれと描写がぴったし同じでびっくりしました 今はありきたりな調味料も昔は様々な苦労を経て重宝されてたんですね
みずち	1-192	
2008/08/06 12:40:30	192P (100分)	塩の生産量の増加に伴う暮らしの変化についてかかれています。 この本を読むと恐ろしいほど睡魔に襲われた。 早く寝たい人にはお勧めの1冊。
	塩の作り方	
pato	36-46	岩塩や塩湖がほとんどない日本で、どのように塩を手に入れてきたかについて知ることが出来た。 普段、何気なく使っている塩の歴史を知り、感慨深かった。
2008/08/01 22:27:09	11P (15分)	
	36-46	図版も多くわかりやすかった1冊でした。 特に読んだ箇所では、塩がどのように取引されていたのかが場所によって異なっており、輸送ルートも街道沿いではなく、一本隔てた細道が好まれていたことなど。現代の高速道路がなかったことを考えると、当時のマンパワーや動物がなせる技のすごさを感じました。
わくわくさん	1-82	
2008/07/31 20:02:05	82P (120分)	口語調で少し読みづらかったですが、味わいのある文章で面白かったです。塩について調べていても、それ以外の重要なことがどんどんと紐解かれていって・・・塩の歴史の奥深さを感じました。 久しぶりに塩おむすびでも作ってみ
contax139	36-82	
2008/07/30 16:25:48	46P (60分)	
	47-60 70,71	
パトロン革命	14-205	
2008/07/29 18:38:53	192P (90分)	

	102-106	ようかと思います。
pocky	76-82	イザベラバードは東北の人たちを見て不潔だなと思ったらしいです。なんと、塩分が足らなかったから肌が荒れたみたいです。現在では塩分の取りすぎが問題になっているので大きな違いがありますね。
2008/07/22 17:13:30	6P (1分)	
	78-81	
hiro	61-76	普段、何気なく使っている塩についていろいろ知ることの出来る良い機会となった。苦味のある塩を利用して、それをニガリとして利用していたなど生活の知恵があったことを知った。
2008/07/22 16:29:17	16P (20分)	
シマウマ	13 ~ 94	塩の神様はいない。確かにそうですよね。盲点でした。全体的に真面目でかたい印象が先行してしまい、のめりこめませんでした。
2008/07/22 12:42:01	79P (60分)	
	14 ~ 19	
honyalala	76-205	「塩の通る道は先に通じる重要な道」改めいや考えていた以上に、塩の重要性を知らされました。また、本中でいくつか塩に関する書籍があげられていたが、意外にも幅広く多いのだなと感じました。非常に読みやすく、生活にも結びついているので読んでいただけたらと思います。
2008/07/22 01:36:17	130P (50分)	
	95-108	
鳩会社元社員	13-82,151-205	何ともマニアックな一冊。製塩法から日本人の暮らしについてまで壮大に書かれています。「砂糖の世界史」を読んだ人は是非調味料つながりで読んでみてください。
2008/07/21 23:23:00	125P (90分)	
	152-160	
のべ	1-82、152-168	「塩を運ぶ」という事を通して、人々の生活やその時代の道のでき方、運び方など様々な考察をしています。馬ではなく牛を用いた方が効率的であるということや、内陸に住んでいる人が木を切りだし川に流すと海側に住んでいる人がそれを焼いて塩を作る、というような、今まで知らなかった事柄を知る事ができ、とても勉強になりました。塩を作るだけでも大変なんですね。
2008/07/15 20:31:48	98P (80分)	
	152-160	
yossie	13-82ページ、153-205ページ	「砂糖の世界史」に引き続き読んでいた、1冊。私は「砂糖」→「塩」の順で読むと良いと思います。本書のほうが、日本を舞台にしていることもあり、食べ物や農具などの文化を図やイラストを交えて、身近に感じる事ができます。塩から始まり、日本の食文化、生活文化に至るまで、話が拡大していきますが、後の方の論じ方は腑に落ちない点が多く、具体的な話をしている序盤の方が面白いと思いました。特に、私は東北出身者という事もあり、東北地方での牛や馬との生活の歴史は興味深いものがありました。
2008/07/10 10:07:22	121P (120分)	
	18-20、47-75、189-195ページ	
ポンプUno	1-220	私たちの生活のイロイロがどのようにして成立したかを分かりやすい口調で書いてくれていて、とても楽しく読めました。もう山に行っても、草木に向かってオシッコをひっかけるのはやめます。
2008/07/08 23:15:27	220P (180分)	
は る ゆ き	47-149	塩や日本人の食べ物について書いた本。全体的に特に難しい話は無く、「へー」

2008/07/08 10:22:07	102P (80分)	といった感じで気軽に読めます。 行間が大きく絵も多いため非常に読みやすい。
	56-59	
ひさひさ	14-72	製塩法や塩の取引方法などが書いてあり 興味深かった．塩の取引後に牛を使って 塩を運ぶなどの知恵が紹介されていて面白かった．
2008/06/24 07:34:47	57P (30分)	
		塩が日本の人々にとってどういう存在 だったか、その製塩法はどうだったか、 といったことを細やかに書いている。同 時に、当時の日本の庶民の生活が浮かび 上がってくる。字の間隔も広くて読みや すかった。
すみただ	14-205ページ	
2008/06/09 23:46:15	192P (150分)	塩、日本人の食べ物、暮らしの形と美の 3つで構成されています。 日本人の知恵や塩に対する知識などがわ かる民俗学的な本でした。 庶民的な日本人の姿を知りたい方は是非
	132-136	
SOUTHERN (° ㏊) !	1-205	自分のみのまわりのものがどんな風に歴 史を重ねてきたのかが分かる。 雑学というか... なかなか興味深い
2008/05/29 10:41:31	205P (200分)	
	1-82	一番初めの授業で先生からいただいた本 リストに、「塩を牛で運ぶのはなぜ か？」という問いがあり、とりあえずそ の答えの部分から読んでみました。 へえ～という感じです。牛のそんな特性 知りませんでした。
sufjan	1-52ページ , 124-130ページ , 179-183ページ ,	
2008/05/20 12:38:18	60P (40分)	後半部分は、日本人の穏やかさや知恵を 感じました。
	124-130ページ	
tormenta	47-60ページ, 161-168ページ, 196-205ページ	
2008/05/09 12:16:10	32P (25分)	
	47-60ページ	

日本の歴史をよみなおす

著者名	網野善彦	発行年	1991年
出版社名	ちくま学芸文庫	ページ数	398ページ
値段	1,200円	ISDN	978-4480089298

日本史学界を襲った激震いまだ去らず。農民中心史観を廃し、「非農業民」という視点を核にすえて、中世史を中心に日本史全体の読み方をガラガラとひっくりかえしてしまった巨大な震源地のエッセンス。

読者投稿欄

コメント登録	コメントだけを登録する
お勧め度	
読んだ場所	例：1-120ページ、上250-中50ページ
読んだページ数と時間	ページ () 分
立ち読みポイント	例：55-58ページ、下257-260ページ
コメント	

投稿者	読んだ場所	コメント
投稿時間	読んだページ数と時間	
お勧め度	立ち読みポイント	
鳩会社元社員	3-77	(ちょうど他の授業で「徳」について習ったところですが) 昔の日本人は金を貯蓄することこそが徳であると考えたそうで、富裕な人を有徳人といったそうです。
2008/08/14 00:19:38	75P (60分)	
	43-77	
SEM	11-224、345-409	江戸時代以前は日本は農業中心の社会だと思っていたのでこの本を読んで衝撃を受けました。 ただ時間がなかったのであまり読めませんでした。
2008/08/11 18:55:02	279P (210分)	
わくわくさん	1-398	「日本は農業を中心に島国独特の文化が発達した」との一見して

2008/07/31 17:54:06	398P (240分)	当たり前と思える考えが、実はそうではなかったとの分析は興味深かった。
		このように、当然のこととして扱われている前提についても、疑う必要があるということを感じた。
のり子	81-156,	穢多、非人の章について読みました。
2008/07/16 15:42:04	76P (60分)	「天皇と「日本」の国号」、「日本の社会は農業社会か」など、他の人おススメの章を読みそこなってしまったようで。
		でも、私が読んだところもおもしろかったし、どこを読んでも面白いのではないかと思います。時間ができたら全部読みたいです。
ivane	11-14,49-80,143-216ページ	図というか絵が多く挿入されているし、一つ一つの章を個別によむことができるので、比較的読みやすい本かと思います。
2008/06/05 10:51:38	110P (60分)	日本史の「勉強」はかなり苦手でしたが、このようなわかりやすく新鮮な本ならば、抵抗なく読んでいけるとわかりました。
	143-156ページ	天皇の箇所もおもしろかったのですが、女性の地位についての章がかなりインパクトがある内容でしたので、立ち読みポイントにはそこをあげています。
パトレーゼ	11-409	網野善彦氏のやさしい日本中世論です。本書では貨幣や天皇、仏教など日頃私たちの身の回りにありながら、制度や慣習として現在の形で定着しているのはなぜなのか、不思議に思うような事柄について歴史的に解説してくれます。特に面白いのは天皇に関する記述で、中学生時代（いやいやながら）学んだ事実と結びついて「なるほど！」が頻発します。ただし、いままで専門家を相手にしてきたらしい著者なので、自明のこととして説明なしで済ませている単語、概念が結構あり、同時にイレギュラーな読み方をする漢字なども多く、少し読んでいて疲れる印象が星マイナス1の理由です。
2008/06/02 15:15:00	339P (180分)	【追記08/07/04】 なんとなく後半部分も読んでみたくなったので結局全部読みました。前半部分で細かいテーマごとの新しい読み方を提示していましたが、後半ではそれらのことを前提として中世日本の動向をもう少し大きな視点で描いています。おすすめは「悪党」の視点から日本を見渡した部分。
ジョコビッチ	143-224、371-405	筆者の農民中心史観、女性観の考え方は新しく、興味深かったが、正直、あまり面白くなかった。
2008/05/20 11:28:36	117P (70分)	本というか、日本史の論文を読んでもる感じがした。

[TOPへ](#)

戦国時代のハラノムシ

著者名	長野仁・東昇	発行年	2007年
出版社名	国書刊行会	ページ数	97ページ
値段	1,000円	ISDN	978-4336048462

戦国時代、病気は虫の形をしていた。鍼（はり）という武器をかざして奇天烈なモンスターに立ち向かった人々の心意を感じつつ、とりあえず愛敬たっぷりのこいつらに爆笑。

読者投稿欄

コメント登録	コメントだけを登録する
お勧め度	
読んだ場所	例：1-120ページ、上250-中50ページ
読んだページ数と時間	ページ () 分
立ち読みポイント	例：55-58ページ、下257-260ページ
コメント	

投稿者	読んだ場所	コメント
投稿時間	読んだページ数と時間	
お勧め度	立ち読みポイント	
読書中	1-76	今の感覚からすると、バカみたいな内容が大まじめに書(描)かれていて、面白かった。 人を苦しめる元凶なんだから、もっと邪悪な容姿をしていてもいいような感じがするのに、どこか憎めないユーモラスな姿をした物が多かったことが意外だった。
2008/08/18 00:59:14	76P (60分)	
鳩会社元社員	1-76	もはや図鑑です。 病気の原因となる蟲について、特徴・病状・治療法・（症例）などが細かく書かれています。そしていちいちツッコミ所が満載です。 ちなみに一番気に入ったのは「小姓」でした。こいつは間抜けなスナ
2008/08/14 00:23:27	76P (30分)	

	全部	フキンのような顔なのですが、こいつに罹ると不治の病に侵され、それはいかなる名医でも治せないらしいです。
鱒鮭	1-77	
2008/08/11 15:53:36	78P (30分)	なかなか想像力を刺激する一冊。
ksk	1-2,8-76	
2008/08/11 14:49:18	71P (50分)	今でいうとどんな病気なのかをあれこれ考えながら読むとおもしろい。
sugar	1-105	みんなでわーわー言いながら読んでみたかったです。 人間の体を病気にさせる色とりどりの蟲たちは 愛嬌たっぷりでとても可愛い。
2008/08/08 12:29:08	105P (30分)	レントゲン写真や数値の並んだ表を見て 「○○の疑いがありますね。また検査しましょう。」 と言われるより、 「どうやらこの蟲がいるみたいですねえ。 体のこの部分に棲みつくやつですから、あっためて 追い出しちゃってください」 って言われるほうが気楽に体調を治せそう。
		訳の分からないものを訳の分からないものとしてそのまま扱う 戦国時代の大らかさに強い魅力を感じた。
みずち	1-97	
2008/08/06 12:36:47	97P (30分)	江戸時代は迷信とか伝説が跋扈してた時代・・・現代ではとても思い つかないような病気の原因を虫というリアリティのあるものとして捕 らえていたところが大変興味深かった、あと虫ぐろいです
SBM	1-77	
2008/08/04 09:04:15	77P (60分)	「今で言うとかの病気のことかな？」って思うものもあれば、 「それはアバウトすぎじゃん？」って思うものまで様々でした。 でも、こんな生物たち、深海にいそうな気がしなくもないです。
まるきん	20-33	
2008/07/25 04:09:15	14P (10分)	かわいいものから可愛くないものまで 想像力っていいもんだ
	23	
かごしま	1-101ページ	
		この本は、前半では、戦国時代の医者たち（といっても今の世での オカルト医者に当たる医者たち）が、実在すると思っていた「ハラノ ムシ」たちを図鑑形式で掲載しています。そして、後半では、この
2008/07/22 19:29:24	101P (60分)	「ハラノムシ」について詳しく解説しています。 正直、後半部分はつまらなかったです。前半部分をぼ～っと眺める くらいが楽しいかも。。。。
	25ページ、58ページ	個人的には「腰抜けの虫」と「肝積」が好きです。かなりキモイで す。
hiro	1-101	
2008/07/22 16:41:57	102P (20分)	かわいいかどうかは別にして単純に見ていて面白ろかったです。
ひさひさ	8-76	
2008/07/22 14:59:18	69P (30分)	単純に面白いです．奇妙な生物に癒されました．
人生迷走中	8-101	
2008/07/22 12:59:38	93P (30分)	奇妙な生物がいっぱい
	8-101	
crystel	1-101	
2008/07/07 20:23:12	101P (20分)	ゲゲゲの鬼太郎の世界でした。。 これ読んだのが夕飯食べた後でよかったです。
たっきー	1-76ページ	
2008/07/07 16:56:37	76P (50分)	昔の人は本当にこんな虫とかが体内にいと信じてたんでしょうか ねえ・・・ 絵を見ても体内にいととはとても考えられんねえ。
SOUTHERN (° ㇿ °) !	1-105ページ	来たぁ = = = (° °) = = = = ! と最初思いましたね。 ポケモンなどとは違い、

2008/07/03 10:48:04	105P (60分)	リアルにがちで医学書に書かれている点がおもしろいですね。しかも、ポケモン図鑑風にステータスなどが説明されている！顕微鏡も無かった時代の日本人の想像力と創造力が感じられます。
	ムシさんの絵全部	というか、そういうDNAが今の、ポケモンやモンスターハンターなどを人気にさせている理由なのかも知れませんね。
モンモンモン	1-11	変な獣とか虫がいっぱい。
2008/06/28 16:33:19	11P (10分)	別にかわいくはない。
		面白すぎて虫酸が走る。
じゃがいも	1-105	虫のイラストがシュール。そして、各虫のキャラ設定(形、生態、症状)が細かい割に治療法が雑。腹の虫が据えかねる人も、ひとたび本書をパラパラめくれば虫の居所も良くなるうというもの。
2008/06/24 09:10:28	105P (40分)	しかしハラノムシたちを解説した『針聞書』は大真面目な医学書だ。人々を苦しめる病気に立ち向おうと、経験や伝承を集結し、理屈をつけていった結果、こうした虫たちは生まれたのだろう。だから、当時の人々にとってはハラノムシ達は実在したと言えるかもしれない。
	8-77	最後にお気に入りの虫を紹介。 まず最強の虫は「小姓」。いかなる名医も直せない不治の病を起こす。僕の中にも居そうなのが「脾臓の笠虫」。激痩せ激太りの原因となるらしい。
すみただ	1-2、8-76	「病人の症状から病気を判断した上で、病気を虫の形で表し、正体を明らかにすることは、レントゲン等がなかった戦国時代の医者にとって、患者が安心して病気と向き合うための治療法の一つであった」という趣旨の説明が本書のはじめになされている。
2008/06/20 17:18:37	71P (30分)	しかし、もし私が、いくら科学技術・医学が発達していなかった時代の人間であっても、この本に書かれているような虫を心底病気の原因となっていると信じれるかどうか疑問である。こういう考え方は現代に生きているからこそ可能なものなのかもしれないが...。
		当時における医者の資格を得るためにはこの本に紹介されている虫を全部暗記すべきだったのだろうか... もし現代の医学も数百年後にはこういう見方をされるとなると、少し残念に感じる...そうはならないでほしい。
ジョコビッチ	1-77	江戸時代の人々の想像力の豊かさには恐れ入った。
2008/06/16 14:27:23	77P (20分)	帯にはキモカワイイと書いてあったが、気持ち悪いだけだったと思った(笑)
メルハバ	1-105	戦国時代の頃は人は病気を虫の形で表していたらしく、その姿かたちを絵にした『針聞書』をまとめたのがこの本。今の時代に生きている自分達にとっては冗談のような本だけど、昔はこれは実際の医学書として使われていたっていうんだからオドロキ。でも、病気を虫の形で表すということは、そうすることでその正体を明らかにし、患者が安心して病気と向き合うための治療法の一つでもあった、という解説を読んで少し納得しました。最近、この授業のおかげでいつもにまして本を読みまくっている自分のハラの中には『本の虫』がいるんだろうなあ。
2008/05/04 23:21:21	105P (30分)	
	8-76	

ヨーロッパに消えたサムライたち

著者名	太田尚樹	発行年	1999年
出版社名	ちくま文庫	ページ数	316ページ
値段	780円	ISDN	978-4480422958

昔、支倉常長という侍がいた。仙台からメキシコを経てスペインへ。主君に命じられて大航海を敢行した。苦労は実らなかった。しかしスペインには一行の子孫と信ずるハポン姓の人びとが今も暮らす。

読者投稿欄

コメント登録	コメントだけを登録する
お勧め度	
読んだ場所	例：1-120ページ、上250-中50ページ
読んだページ数と時間	ページ () 分
立ち読みポイント	例：55-58ページ、下257-260ページ
コメント	

投稿者	読んだ場所	コメント
投稿時間	読んだページ数と時間	
お勧め度	立ち読みポイント	
マーシャル	1-327	江戸時代は鎖国によって海外との交わりを絶っていたというイメージがあったので、その時代にヨーロッパへ渡ったサムライがいたことに驚いた。意外と日本人には行動力があることを再確認した。
2008/07/22 16:06:28	327P (180分)	
pocky	1-327	400年以上前からヨーロッパに行った日本人がいることを知らなかったので、驚きでした。使節団の数人がスペインに残り、現代のスペインにその末裔がいることに歴史のロマンを感じました。
2008/07/20 14:41:48	327P (180分)	
	295-317	
つけめん	234-317	本書の後半は主に、使節団の身の振り方の苦労などが書かれていた。戦国の世に生まれ、普通なら刀を握り、死ぬまで日本で過ごすはずだったようなサムライたちが世界を見て、心を動かされる。

2008/07/11 15:46:16	84P (100分)	なかなか面白かった。
hiro	1-29	興味深いタイトルだったので、とりあえず最初のさわりの部分だけ読んでみました。
2008/07/01 14:53:17	29P (20分)	江戸初期に支倉常長のような使節がスペインに派遣されていたこと、伊達政宗がそのような地域に興味を持ち、国交を持とうとした事実に驚きました。
	1-29	
SEM	7-84、234-323	僕が読んだところは、スペインに日本を意味するハポン姓を持つ人々がいるんですが、彼らは慶長遣欧使節団のメンバーの子孫ではないかという話を使節団の軌跡をたどりながら検証していくといった感じです。慶長遣欧使節団がその役目が果たしていれば伊達政宗が天下を取っていたかもしれないと考えると非常に興味深い話でした。
2008/06/30 14:02:18	168P (150分)	
	248-	
knennnn	7-84,110-166,206-323	歴史に翻弄されながらも使節の役目を果たす支倉常長がかっこいいです。残された文書から支倉常長遣欧使節団とスペインにいるハポン（日本）姓の人々の関連を推測する歴史ミステリーっぽいところもあります。
2008/06/23 12:46:24	253P (240分)	
	206-233	
鳩会社元社員	6-323	支倉常長遣欧使節団の長い旅路について書かれた一冊です。途中で読むのをやめてしまうと、遣欧できなくなってしまうので結局濫読しました。
2008/05/26 00:07:51	318P (360分)	かなり高い確率でヨーロッパに渡った人々の子孫が、今もスペインにいるそうです。
	295-317	もしかすると、この講義の受講者の中に"スペイン人"と同じ血をひく人がいるかもしれません。

[TOPへ](#)

江戸の大普請 - 徳川都市計画の詩学

著者名	タイモン・スクリーチ	発行年	2007年
出版社名	講談社	ページ数	263ページ
値段	1,800円	ISDN	978-4062143806

イギリス人が花のお江戸を研究して、そのユニークな視点に乗って、いろんな珍しいところへ連れて行ってくれる。品川の大仏、吉原通いの水の道。

しかし風水に毒されすぎていないかなあ、など、ちょっとイジワルだけれど、ほんとなかな？ と疑惑のまなざしで読むとおもしろい。

読者投稿欄

コメント登録	コメントだけを登録する
お勧め度	
読んだ場所	例：1-120ページ、上250-中50ページ
読んだページ数と時間	ページ () 分
立ち読みポイント	例：55-58ページ、下257-260ページ
コメント	

投稿者	読んだ場所	コメント
投稿時間	読んだページ数と時間	
お勧め度	立ち読みポイント	
アイを叫んだケモノ	265-268	正確な時間に支配される（正確な時間を刻まなくてはいけないこと）のではなく、生活の中に時間を取り込み適度にコントロールしていたことが確認できる。「数量化革命」との比較を意図してページをしぼって読んだ。
2008/08/17 20:14:33	4P (10分)	
	265-268	
purebred	1-84	いつも地図と格闘しながら、場所のことを考えたりするが、文化的側面から日本橋がどう位置づけられたかというところが面白

2008/08/11 03:58:50	84P (60分)	かった。
	24-36	でも、分析が精緻ではないような気がして飽きちゃいました・・・
ひさひさ	16-90	最初の部分には、日本橋から見る景色について書かれている。 当時の江戸城や富士山、京都などの位置づけと、日本橋から見える景色の関係が興味深かった。
2008/06/22 03:48:29	75P (60分)	
人生迷走中	217～278	何人かの人がコメントしていたので、吉原の部分を読んでみた。 今の歓楽街と違ったものだった。まあ面白かった。
2008/06/03 10:42:06	62P (80分)	
contax139	68-215	江戸を知るには京都を知るという部分がおもしろく読めた。 徳川の権力をどのように江戸の世に知らしめていくか。その中で翻弄されている寺社の様子が書かれている第2章がおもしろく読めた。 ただ、すべてが風水ありきで語られているが、実際そのような部分だけで決まったとも思えない。寺院に関しては、すでに名所化していたところを引き継いだのではという印象が強い。
2008/05/29 14:32:15	147P (120分)	
	68-86	今まで吉原は単なる遊郭としか認識していなかったが、吉原を取巻く環境、吉原への道のり、吉原へ通う男の心情など細かく分析している点が非常に興味深かった。
マーシャル	117-162,217-278	
2008/05/19 22:46:03	108P (50分)	徳川家が作った江戸。その江戸の町がどういった経緯で発展をしてきたのかが描かれている。絵画を参考に当時の歴史的背景も語られつつある。最後には吉原について書かれており、当時の男の日常からの逸脱がおもしろい。
	217-278	
本多小松	1-282	大普請とあるので土木工事の話かと思ったら、江戸の都市計画中心の話でした。江戸の風水を取り入れた都市計画が現在の東京にも影響を与えてるのかも考えると都市の見方が変わるかも。
2008/05/15 08:44:32	282P (200分)	
	57,217-278	『江戸』という町がどのようなコンセプトの元作られたか、という都市計画の本でした。この本は筆者が外国人で、これ自体は訳本にあたるのですが、少し教科書的で読みにくかったです。話自体はそこそこ面白かったので 2つにしました。
knennnn	1-9、117-162、217-282	
2008/05/13 12:28:49	121P (60分)	江戸を作ろう！ということなのですが、この頃の日本は今と違って宗教色が濃くて、仏教や陰陽道の観念が十二分に取り入れられている街づくりには今には無いものを感じました。ちょっとしつこい感じはしましたが。平城京や平安京、そして江戸の都市計画の構造が人体の構造に似ている、という説明が印象的でした。各章ともに関連している絵や歌をふんだんに使って説明しているため、視覚的に、感情的にも楽しめると思います。個人的には吉原の章の歌がなんとも皮肉じみてて好きでした。武士も坊さんも、結局みんな引っぺがしてしまえば残るのは人間（♂）だけ、ということか。
	136-148	
メルハバ	1-9、67-162、217-282	江戸を作ろう！ということなのですが、この頃の日本は今と違って宗教色が濃くて、仏教や陰陽道の観念が十二分に取り入れられている街づくりには今には無いものを感じました。ちょっとしつこい感じはしましたが。平城京や平安京、そして江戸の都市計画の構造が人体の構造に似ている、という説明が印象的でした。各章ともに関連している絵や歌をふんだんに使って説明しているため、視覚的に、感情的にも楽しめると思います。個人的には吉原の章の歌がなんとも皮肉じみてて好きでした。武士も坊さんも、結局みんな引っぺがしてしまえば残るのは人間（♂）だけ、ということか。
2008/05/03 22:42:15	171P (90分)	
	68-76、86-104	

江戸城が消えていく

著者名	千葉正樹	発行年	2007年
出版社名	吉川弘文館	ページ数	252ページ
値段	1,800円	ISDN	978-4642056397

「絵」と「図」というキーワードで江戸の切絵図&名所図会の変化を追うと.....ふたつの変化が一致していないところから分析が深まる。

読者投稿欄

コメント登録	コメントだけを登録する
お勧め度	
読んだ場所	例：1-120ページ、上250-中50ページ
読んだページ数と時間	ページ () 分
立ち読みポイント	例：55-58ページ、下257-260ページ
コメント	

投稿者	読んだ場所	コメント
投稿時間	読んだページ数と時間	
お勧め度	立ち読みポイント	
パトロン革命	1-27	もう少し時間があれば読みたかったのですが、本当につまみ読みになってしまいました。地図を読むのが苦手な自分にとっては絵的な要素が多くて意外と読みやすかった気がします。
2008/08/14 15:53:19	27P (20分)	
	24-27	
すみただ	1-55ページ	江戸時代の画像を分析している箇所に興味をもった。主要建物や教会、出入り口等の、絵の中における配置を定式化している点が面白い。また、絵の中に登場する人物についても、どのような特徴をもった人物が何%を占めている、といった、まるで論文のような表現・構成をとっており、何故か学術的気分になりました。
2008/07/08 17:13:34	55P (30分)	
	28-33ページ	

SOUTHERN (° ㏊) !	77-249	冷静と情熱のあいだではないですが、「絵」と「図」とのあいだの江戸地図についていろいろ書いてありました。最後は江戸都市メディアについてかいてありますが、今も東京はメディアが交錯する中心で、おもしろいなぁと思いつつ、大きく見れば日本の情報に対する歴史が垣間みれる一冊ではないでしょうか？
2008/06/19 11:32:08	173P (180分)	
	76-124,229-249	
アイを叫んだケモノ	1-98,125-210	地図好きにはたまりません。そうでなくても地図の情報から時代背景や作者の意図などを読み解いていくという作業は魅力的なはず。都市の遺伝子発見のためには必須だと思います。
2008/05/27 15:46:17	184P (100分)	
	125-148	
つばき	1-73,149-183	図会とか珍しい史料を見れますが、ちょっと専門的で話が細かかったです。
2008/05/20 10:30:36	107P (60分)	

[TOPへ](#)

江戸お留守居役の日記-寛永期の萩藩邸

著者名	山本博文	発行年	1991年
出版社名	講談社学術文庫	ページ数	336ページ
値段	1,150円	ISDN	978-4061596207

毛利家の江戸駐在外交官の日々の活動。

さすが大藩の渉外の名人。如才なくスマートに、つぎつぎ起きる問題を穏やかに収めてゆく。目の前の幕府、国元の藩主、あちらもこちらも立てなければならない苦境に、がんばれ彦さん、と声をかけたくなる。

それにしても、まだ殺伐としていたはずの江戸の初期に、こんなに紛争解決がじょうずだったのに、どうして幕末には、あんなに藩を上げて尊王攘夷で燃えたぎってしまったのでしょうか。制度疲労ってヤツ??

読者投稿欄

コメント登録	コメントだけを登録する
お勧め度	
読んだ場所	例：1-120ページ、上250-中50ページ
読んだページ数と時間	ページ () 分
立ち読みポイント	例：55-58ページ、下257-260ページ
コメント	

投稿者	読んだ場所	コメント
投稿時間	読んだページ数と時間	
お勧め度	立ち読みポイント	
P-ball	31-41	お留守居役は大変だなと感じました。 藩主のために汚れ役も務めなければならないとはなんとも辛い役ですね
2008/07/22 12:49:11	11P (10分)	
P-ball	31-41	お留守居役は大変だなと感じました。 藩主のために汚れ役も務めなければならないとはなんとも辛い役
2008/07/22 12:42:15	11P (10分)	

		ですね
ODN	P19-41	素直に最初から読みましたが最初が何の導入もなくいきなり始まっている感じで歴史の知識が全くない私にとってはよくわかりませんでした。
2008/07/11 12:38:15	23P (20分)	
すみただ	72-111ページ	江戸留守居役と聞くと、ただ単に「お留守番」みたいな印象を受けたが、全然違いました。交渉人として藩の命運を握っている感を受けました。お給料はやっぱりよかったのかな？
2008/07/08 16:36:27	40P (30分)	
SOUTHERN (° 丹 °) !	3-30, 112-174	あんまり読んでいませんが、お江戸もなかなか大変そうだなぁと思いながら、麻布六本木らへんに興味があったので第三章を読みました。
2008/06/27 11:02:18	91P (90分)	
	3-71	
マーシャル	3-78,152-194	江戸時代の歴史に詳しくないので、登場人物や役職名など理解するのに苦労した。大事に至る前に根を摘み取っておくのは、現代でも重要だと思います。
2008/06/26 17:51:14	119P (60分)	
本多小松	3-365	毛利家萩藩の江戸御留守居役の仕事と活動について。江戸時代、藩は国であり、江戸に各藩ごとに江戸屋敷を構えていた。それはまさに外交から民のことまで面倒をみるといったさまは今の大使館のようなものである。將軍からお家騒動・老中への気配りなど留守居役の忙しさはすごいものであったようです。なかなかおもしろくお薦めの一冊にできると思います。
2008/06/23 10:08:27	363P (400分)	
camel	3-41,206-222,240-244	スーパー秘書のお話です。そう言えばいつから秘書＝美女というイメージになったんでしょうね。
2008/05/28 12:42:48	61P (60分)	
白猫	1-80、152-194	私の基礎知識が足りないせいか、知らない単語がたくさんでてきたため、読んでいる途中ですっかりちんぷんかんぷんになることも(汗藩の信頼を得た切れ者の仕事ぶりには、目を見張るものがあります。騒ぎを大きくしないのが仕事なので、若干退屈でした。
2008/05/23 17:03:06	128P (120分)	
	184-189	
パトロン革命	92-111、152-174	「お留守」という言葉からは想像もつかないような仕事の多様さにびっくりしました。また、後半では詳しい身分階級や屋敷の配分などについても図で示してあるので視覚的な情報も得ることができました。要はお留守居役って酷使される便利屋なのかも・・・と覚えてくる内容です。
2008/05/22 21:40:22	43P (50分)	
	164-171	
メルハバ	3-5、175-284、349-365	先にどっかの御置奉行の日記の本を読んだんですが、あちらは毎日遊びまくってたのに対してこっちは毎日仕事、仕事、仕事。まさに江戸版企業戦士。でもその仕事ぶりは非常に賢明でかっこ良かったです。頭がいいってこういうことを言うんだろなあ。自分の読んだところは交渉の場面が多かったのですが、どの用件も巧妙に解決(板ばさみにあって大変だったのもありますが)面白かったです。先述の御置奉行奉行を見て「働けよ!」と思った人は特におススメです。
2008/05/15 19:22:48	129P (120分)	
	189-205	

元禄御畳奉行の日記-尾張藩士の見た浮世

著者名	神坂次郎	発行年	1984年
出版社名	中公新書	ページ数	0ページ
値段	660円	ISDN	978-4121007407

武士ってこんなにヒマだったんだ！ と世の中を驚愕させた24年前のベストセラー。

ヒマだから、あっちこっちで小さなワルさを致します。飲酒に刃傷、はたまた人妻のつまみぐい。主人公の文左衛門さんは心中マニアだったんですって。

読者投稿欄

コメント登録	コメントだけを登録する
お勧め度	
読んだ場所	例：1-120ページ、上250-中50ページ
読んだページ数と時間	ページ () 分
立ち読みポイント	例：55-58ページ、下257-260ページ
コメント	

投稿者	読んだ場所	コメント
投稿時間	読んだページ数と時間	
お勧め度	立ち読みポイント	
鳩会社元社員	21-56	江戸の平和っぷりにはサムライも戦うことをしばしば忘れていたようです。 というのも、江戸時代ではサムライはもはや兵士ではなく藩庁に出仕する行政マンとして生活していたため、時として大事な大事な刀をその辺に置き忘れてしまうことがあったそうです。 こうした文章を読むと、そんな平和な江戸時代に行ってみたい気分になります。
2008/08/14 00:26:07	36P (30分)	
contax139	89-108,145-165	話の内容そのものは親しみやすいが文体がどうしても苦手で読み進むのに苦労してしまいました。一人の藩士の視点で描かれており、固有

2008/08/01 09:42:55	39P (50分)	名詞や場所などが細かくかかれていますので、より現実味が増す効果があります。
	146-151	いつの時代も事件は起こり、人々の注目を集めることを実感。
たっきー	89-108	読んだところはただ日記に書いてあったことの羅列だったので、もう少しうまく書けたんではないかと思いました。
2008/07/15 10:27:23	20P (30分)	日記にあったことはおもしろかった気がしたんで残念でした。
ODN	P2-22	古めかしい文字がたくさん並んでいて読みにくいかと思いきや意外と読みやすく面白かった。
2008/07/10 20:42:53	21P (30分)	ぐーたらな主人公に親近感がわきました。時間があつたらまた読んでみたい。
crystel	145-168	「城下の事件簿」という章を読んでみた。事件自体にあまり悲惨さを感じないのは不思議である。
2008/07/07 21:05:20	24P (20分)	たしかに人は死ぬ。しかし、その理由や手段が現代とは異なっている。
		科学の進歩がかならずしも人間の幸せにはつながらない、という言葉をぼんやりと思い出した。
sufjan	3	
2008/06/24 12:37:20	3P (10分)	いろいろ忙しくて読めず
SOUTHERN (° Д°)!	23-56,145-168	文章が難しいですが、日記なので気軽にさっと武士の本音みたいなものを読めるかもしれません。武士道にかんするある数学者の本が話題になりましたが、こっちはリアルなところではこんな感じで武士が生活していたというところがみられますね。
2008/06/19 11:38:59	48P (60分)	
	23-56	
本多小松	1-25	武士の生活が描かれているが、非常に私にとって読みにくいという感じがした。武士でいろいろと武芸に入門するが飽きやすいという主人公が書かれている。
2008/06/17 12:33:04	25P (30分)	
SEM	1-108、129-201	戦の時代が終わって武士が軍人というよりも役人的な要素が強くなってきた時代の一藩士の暮らしぶりや世相が垣間見れて良かったです。でも今の世の中で文左衛門のように出張中に遊び三昧してたらみんなにたたかれそうだな。
2008/05/19 13:39:11	181P (200分)	
弟子	1-70	「こいつヒマなんだなあ」とりあえず目に付いたものはメモするメモマニア。出てきた飯についてひたすら食材を並べて書いてあったのは啞然の一言。こんな彼だからいつもメモ用紙を持ち歩いていたはず。一体どんな量になったのだろう。
2008/05/12 04:55:34	70P (100分)	武士、と聞こえはいいけれど今のサラリーマンと大差なく、妻に尻をしかれ、仕事はサボろうと躍起になり、とにかく自分勝手に気ままに必死に生きている。そんな生き方が共感をもてるのだが、あまりにも似すぎていて新鮮味のかけらも無い。本当にただのサラリーマンの日記を見ている感想。
		章をまたいで被る話は少ないから、目次で気に入ったところを適当に眺めていくだけでも面白いはず。
メルハバ	1-201	元禄に生きた超筆まめ武士の日記。酒、女、芝居その他もろもろが大好きで、自由奔放に生きている姿が目につかびました。そんな彼もお役人なわけで、元禄社用族の章では今のお役人もびっくりな豪遊ぶりを見せてくれます。300年以上前から役人ってのは何にも変わらないんだなあ、と思いました。ここまで読むと面白そうな本なんですけど、中盤から後半にかけて姦通、淫乱といった単語が飛び交う下ネタのオンパレード。好き嫌いとかではなくて読み疲れてしまいました。自分は勢いで読んでしまいましたが、これから読む人は前半～中盤だけでも十分だと思います。もともと古語が多くてそんなに読みやすい本でもないし。
2008/05/04 23:20:01	201P (120分)	
	23-56	

お家相続-大名家の苦闘

著者名	大森映子	発行年	2004年
出版社名	角川選書	ページ数	0ページ
値段	1,400円	ISDN	978-4047033689

きちんと男子に恵まれるはずもないのに、制度は直系男子の相続が大前提。

さて、この矛盾をどうする？ 江戸時代のお殿様たちは、制度を変えるのではなく、タテマエとしての制度はしっかり維持しつつ、その裏側に、いろんな珍妙な切り抜け法を編み出した。年齢詐称に系図改竄、死亡日操作に替え玉提出。

そこまでしてタテマエを守り抜いた三百年であったのだ。カチンコチンの組織が窮屈になるとハンマーでぶっ壊して次を作ろうとするヨーロッパとは異なった日本らしさが見えてくる。

読者投稿欄

コメント登録	コメントだけを登録する
お勧め度	
読んだ場所	例：1-120ページ、上250-中50ページ
読んだページ数と時間	ページ () 分
立ち読みポイント	例：55-58ページ、下257-260ページ
コメント	

投稿者	読んだ場所	コメント
投稿時間	読んだページ数と時間	
お勧め度	立ち読みポイント	
ODN	P12-18	なんだか読みにくい印象ですぐ飽きてしまいました。
2008/08/18 00:10:07	7P (5分)	
SBM	7-40	家を相続していくのも大変なのだなと感じさせられた。

2008/08/15 14:52:26	34P (50分)	今の天皇家でもそうですよね。
さわら	1-41, 165-183	全体的にパラパラと読みましたが、重点的に読んだのはこの60ページくらい。 自分、広島出身らしく毛利が好きなもので。
2008/08/13 19:38:07	60P (100分)	家を存続するためになされたことが描かれています。 やはり家は大事なんですね、ということがよくわかる。
	16-23	もっと時間をかけて読みたい。
鱒鮭	7-9	
2008/08/12 15:50:21	3P (1分)	手に取ったはいいけど、まったく興味がわかなかった(´ω`;))
ロマンチストの資格	12-40,72-85,203-207	家の相続問題に関心があり読んでみた。 家康一家臣間の人対人の契約だったものが、時代を経て將軍家―大名家の家対家の契約になる。 そこで家を継いでいくときの相続にはルールが決められ、とくに17歳前的大名が死ぬと基本的には相続できないルールが厳しかった。 成人率が3分の1程度の時代、いかにしてお家を守っていくか。 養子、詐称、身代りまでして、ルールをすり抜け守る「家」というもの。身分制社会における家の重要度と制度の難しさを感じた。
2008/07/22 18:23:56	48P (30分)	
たっきー	7-22	江戸時代は血のつながりこそが重要だと思っていましたが、実際にはそんなことはなかったらしい。
2008/07/22 13:47:51	16P (20分)	しかも家にある家系図と幕府に届け出ているものが違うのがざらにあったとは・・・驚きでした。
シマウマ	7～70（始めに、第一章）	
2008/07/22 10:44:20	63P (80分)	江戸時代のお家相続では17歳が重要だったわけですが、どの建前が重要かというのを考えさせられました。
	31～40	
かごしま	7-44ページ、203-207ページ	この本では、江戸時代におけるお家相続のための大名の苦闘を、例を挙げながらわかりやすく説明しています。
		お家相続には幕府が課したルールが存在し、江戸時代において、そのルールを順守することは難しく、大名たちはそのルールをギリギリ（？）のところでいろいろな方法を用いてこれをクリアしようとしていたようです。
2008/07/16 22:58:20	43P (60分)	
	203-207	大名の系譜の裏には隠されたさまざまなドラマがあるのです。
knennn	7-69	現在では血のつながりよりも家の存続を大事にするということにあまりピンときませんが、当時の人にとっては一大事だったようです。当主が死んでも生きていることにして養子の手続きをするところなど建前を大事にする日本というのが表れているのではないのでしょうか。
2008/07/14 10:02:56	63P (40分)	
	31-44	
すみただ	72-140ページ	この本に書かれている、江戸時代の大名の後継者問題について、例えば血統を存続させるための年齢詐称や替え玉作戦に関して、時代劇をつくりドラマ化すれば、もっと歴史に興味をもつ学生が増えそう…。
2008/07/08 16:56:19	69P (40分)	
	78-83ページ	
hiro	16-22	家督相続に関しても、年齢や家柄のどの規制があったようで、また、徳川家とゆかりのある家は、優遇されることも少なくなかったのに対して、やはり外様大名たちにはそういったあまりなされなかったなどの違いもあり、お家を守っていくことも大変なんだなと感じた。
2008/07/01 14:58:38	7P (10分)	
	16-20	
つけめん	7-70	相続の必死さがわかる。 子作りも大変だな。
2008/06/17 10:59:23	64P (60分)	
		あまりのめりこめなかった。
白猫	7-103、142-182	家をつぶさない為には、いろいろな苦労があるようです。 生まれた子供がきちんと育つのが、昔は難しかったことが良く分りました。

2008/06/02 11:15:02	138P (180分)	七五三や元服も昔はお祝いするほど、嬉しい出来事だったんだなあと感じました。
	23-31	それにしても、子供死にすぎですw
SOUTHERN (° Д °) !	12-201	裏の人間の生々しさが大名相続問題をテーマに見られたきがします。
2008/05/29 10:52:44	190P (260分)	僕みたいな一般人には無縁の苦闘かもしれませんが（笑）ドロドロとした実情や昼ドラや韓国ドラマが好きな人におすすめかも
	142-201	
pato	7-164, 203-207	後継ぎ問題において大名家が幕府に対し情報操作するお話。
2008/05/27 12:30:48	163P (240分)	年齢詐称, 替え玉的なものはなんでもありだったらしい。
	108-113	裏の歴史を見ているようで面白かった。
メルハバ	7-22、142-212	当主が17歳未満で亡くなった場合、原則として相続が認められず、お家断絶になる可能性がある、という制約の中、その制約に抵触しそうな家たちがどうにかして跡継ぎを探す、といった内容の本でした。
2008/05/07 18:31:26	97P (40分)	年齢詐称は当たり前、亡くなった人が生きていたり、家系図を書き換えるような届出を出したりで、いかに当時の大名達が自分のお家の相続に四苦八苦していたかが分かりました。
	142-164	全然血筋のつながっていない人を養子として迎え入れていたりで、大事なのは一族の血ではなく、一族の名前だったんだなあ、と思いました。
SEM	7-140、203-207	「当主が17歳未満で死んだら相続が認められない」という制約の中、いかにして幕府に相続を認めさせるかという問題に立ち向かう大名やその家臣の奮闘ぶりが描かれていてそこそこ面白かったです。
2008/05/02 21:07:40	139P (150分)	確かに家を潰してしまえば、名を残せないだけでなく、たくさんの失業者（浪人）を出してしまうことを考えれば、大名にしてみれば相続の問題は死活問題であることはうなずけます。
	124-140、203-207	最後になぜ幕府が17歳という年齢にこだわるのかということが書いてあるのでそこを読めば理解が深まると思います。
本多小松	7-201	大名の相続問題の対処方法が岡山池田家・人吉相良家・伊達家・毛利家などの大名に加え将軍家（御三家）の実記録を元にいろいろと述べられています。
2008/04/23 14:41:42	195P (300分)	17歳未満も大名になることができたが、17歳未満の場合、死去すると後継者が指名できないという制約がありました。
	72-	昔の記録をみると、子供が30人とかいても成人に到達できる人が数人しかいないというご時世、17歳以上の後継者を確保するということは難しかったようで、養子・身代わり・偽装など手を尽くしていたようです。
		しかし、不幸にも後継者が早世してしまうことも多く、何回も探すということをした人もいたり、池田家に関してはもう何回後継者が変わったのか、この人が一体どこの人なのかもう読んでいて追いかけるのが大変でした。
		17歳を越え成人に到達することが当時は大変だったのでしょうか。大名家の最後の目的は血筋を残すというよりは名前を後世に残すことだったのかもしれませんがね。
		余談に史記の作者の司馬遷もそんな1人だったとおもいます。

桶屋一代江戸を復元する

著者名	三浦宏	発行年	2002年
出版社名	筑摩書房	ページ数	207ページ
値段	1,900円	ISDN	978-4480816214

ミニチュアで細かく細かく復元された江戸の町。お風呂屋さんに屋台に木戸番。作り手さん自身がその暮らし方を案内してくれる贅沢三昧。

読者投稿欄

コメント登録	コメントだけを登録する
お勧め度	
読んだ場所	例：1-120ページ、上250-中50ページ
読んだページ数と時間	ページ () 分
立ち読みポイント	例：55-58ページ、下257-260ページ
コメント	

投稿者	読んだ場所	コメント
投稿時間	読んだページ数と時間	
お勧め度	立ち読みポイント	
SBM	189-197、214-220	書き方が非常に独特でしたが、読んでてほっとする本でした。今の若い者は...っていうフレーズが多いのが気になりましたが。
2008/08/15 15:01:13	16P (30分)	
鱒鮭	221-222	あえてあとがきだけ読んでみる。挿絵部分も眺めたが、立体物はなごむ。実にいい。
2008/08/12 16:12:50	2P (1分)	
人生迷走中	1-222	ミニチュアが好きなので、写真だけ拾って覗きました。結構面白かった。けど、皆のコメントを見ると、内容もそこそこ興味あるので、今度また
2008/07/22 13:03:36	43P (15分)	

		めぐり合ったら読みたいなあ。と思います。
のべ	1-50	すごい上から目線のしゃべり口調が嫌でした。こういうタイプの人は、苦手というより嫌いなので、読む気が途中で失せました。
2008/07/14 13:10:26	50P (30分)	でも、内容はそれなりに面白く、50ページまでで語られる吉原の案内の話は、面白かったです。そこで語られる「お金の使い方」については、思わず「なるほど」と思ってしまいました。
	1-13	
マーシャル	1-84	江戸の職人が語りかけてくる様に文章が書かれていて読みやすい。それにしても、この職人さんの知識の豊富さには驚かされた。文章の途中に出てくる「桶屋がベニヤの棺桶に入ったじゃないかって言われるのは悔しいからね。」という言葉に職人としての生き方、誇りを感じた。
2008/06/25 18:03:42	84P (60分)	
	15-78	
本多小松	1-222	江戸の町をミニチュアで再現しその町をまるで今歩いているかのように説明をしていく。江戸の町のお店のこと、職人氣質などがよくわかる一冊です。特にこの本の目次は変わっておりなかなか気に入りました。ただの桶屋じゃございません。このような方とぜひお話ができればいいのにと思いました。
2008/06/25 15:23:42	222P (240分)	
	目次	
sugar	1-110	口語調の文章で、のんびり構えずに読めます。
2008/06/24 12:08:58	109P (70分)	吉原に案内される箇所ではちょっとオトナな雰囲気が出てきてすてきです。
	特になし	
読書中	1-79	模型製作中のあれこれが書かれているのかと思いきや、江戸の町を歩き回って案内されているかのような口調と内容。
2008/06/03 15:03:23	79P (90分)	独特の文体に最初は面食らったが、慣れれば意外とスイスイ読める。
パトロン革命	1-43	口語調で、テンポよく読めました。タイトルからすると、ドキュメンタリー風に書かれていると思いがちですが、それを心地よく裏切られた感じでした。「江戸っ子」の心意気がフレッシュに描かれていて、おじさんの解説もリアルでした。また、個人的には写真にとっても魅かれました。金魚が飼いたくなる作品です。
2008/05/10 13:09:18	43P (30分)	
	37-43	
エリカ様	15-26ページ	
2008/05/01 12:46:40	12P (20分)	親父の独り言のように淡々と語る様子から江戸の町の風情が浮かんでくるようである。
	なし	
かごしま	1-222	「粋」 この本はその一言に尽きる。
2008/04/28 18:31:32	222P (180分)	本では、職人氣質なじいさんが、自分の作品紹介を通して、江戸という時代を独り言のように語っています。
		じいさんの独り言を読むと、まるで自分が現代の江戸にいるかのような錯覚を得ることができます。
	15-79ページ	特に「吉原」の話は秀逸だと思います。
		この本を「粋」ととるか、「じじいの戯言」ととるかはあなた次第。

"きよのさん" と歩く江戸六百里

著者名	金森敦子	発行年	2006年
出版社名	バジリコ株式会社	ページ数	338ページ
値段	1,800円	ISDN	978-4862380241

きよのさん無敵。大金持ちで太っ腹。と一緒に日光・江戸、そして京都をめぐる贅沢三昧の旅にどうぞ。

読者投稿欄

コメント登録	コメントだけを登録する
お勧め度	
読んだ場所	例：1-120ページ、上250-中50ページ
読んだページ数と時間	ページ () 分
立ち読みポイント	例：55-58ページ、下257-260ページ
コメント	

投稿者	読んだ場所	コメント
投稿時間	読んだページ数と時間	
お勧め度	立ち読みポイント	
読書中	1-100	筆者が豪遊しながら旅する様子を当時の日記から解説。 旅の途中で見た女性の格好について詳しく書かれていたりするのは、女性ならではの観点で面白かった。ただ、旅の出来事が淡々と続くので、途中で読むのに飽きてしまい、江戸で断念。
2008/07/23 14:40:03	100P (100分)	
mizuhara	1-27	日記というよりも、日記に出てくる情報をひたすら解説されているだけのような気がしてあきらめてしまいました。なんとなく、当時の旅は大変だったんだなぁ。というのは分かります。
2008/07/08 12:57:36	27P (20分)	
本多小松	1-307	庄内から江戸を通り、東海道をって京都・大阪へ。買い物と関所抜け・当時の女の人たちの各地での格好の記述などが印象的なものでした。神社・寺なども多く出てきており、この本をもって同じ道をたどっ

2008/06/05 12:38:51	307P (200分)	てみるのもまたおもしろい旅ができるかもしれません。 残念ながら、帰途途中の新潟あたりまででいくとちょっとマンネリ感が 否めず、読むのをやめてしまいましたが、そこまでは面白いので途中ま ででもいいので読んでみてもいいかもしれませんね。
	江戸から京都まで	
ポンプUno	1-100	筆者の語り口が淡々とし過ぎていて読み進めるのがちょっとしんどかっ たです。 旅程をかなり細部にわたって書いているので、想像力豊かな人であれ ば、きよのさんと一緒に豪遊の旅に出られるのかもしれません。
2008/05/07 02:19:51	100P (90分)	
	?	

[TOPへ](#)

武士の家計簿

著者名	磯田道史	発行年	2003年
出版社名	新潮新書	ページ数	203ページ
値段	680円	ISDN	978-4106100055

埃まみれの古文書から微細にあぶり出される武士家族の収入と支出。維新を乗り切ったつましい暮らし。

読者投稿欄

コメント登録	コメントだけを登録する
お勧め度	
読んだ場所	例：1-120ページ、上250-中50ページ
読んだページ数と時間	ページ () 分
立ち読みポイント	例：55-58ページ、下257-260ページ
コメント	

投稿者	読んだ場所	コメント
投稿時間	読んだページ数と時間	
お勧め度	立ち読みポイント	
わくわくさん	1-200	家計簿を通して、当時の武士の生活を垣間見ることが出来る。退屈になりがちな歴史ものが多い中、これは家計簿という切り口から話を展開することで、読み易く飽きの来ないものに仕上げている。
2008/08/17 05:07:52	200P (90分)	
さわら	1-30	授業が始まってすぐ借りて、とりあえずパラパラとめくってました。 でも授業ごとに返さないとまずいかなと思ったんで、これからしっかり読もうかと思ったけど返して。 読む時間がありませんでした。 で、もう一回借りるのを忘れてしまった・・・
2008/08/13 19:42:51	30P (20分)	
SBM	107-126	武士でも子供の養育費はかかっていたんだなぁというか

2008/08/13 08:53:23	20P (30分)	むしろ、武家の子供は何でもできなければならなかったのだと思うと妙に親近感が湧いてきました。
男爵いも	45-103	
2008/08/07 06:26:08	59P (40分)	家計簿から当時の武士の生活がリアルに描かれ面白かった。
	45-103	
エリカ様	1-128	歴史を紐解いていくと現代数学的に合理的になされている計算の解が達成されていることが多々あるが、これもやはりという感じ。
2008/08/06 17:15:14	128P (100分)	
	1-44	
まるきん	1-216	加賀の会計部所に勤めていた下級武士が
2008/07/25 04:12:28	216P (120分)	会計技術でのし上がっていくサクセスストーリー（？）
	1-44	江戸時代と武士のイメージを、より人間味にあふれたものにしてくれる。
pocky	1-44	
2008/07/22 12:08:48	44P (15分)	江戸時代から算術が重要であったと知りうれしく思いました。
	21-23	
じゃがいも	1-103	金の出入りを詳細に記しただけの資料から、武士の財布事情をこんなにも面白く書けるのは著者の熱意ゆえだろう。この資料を発見した時の感動具合(はじめに)からして異常だ。笑。
2008/07/10 08:57:38	103P (90分)	1つ分かったのは、江戸時代の政治は緻密な会計処理に支えられていたということ。理系文系な分け方をすれば、理系が政治の要だったというか、理系文系が適材適所に治めていた感じ。今の政治機構は理系が頑張っても最終的に数字を分かってない人が決定権を持っていたりすることもあるので残念である。
	はじめに	また、武士の家計簿を通じて、武士という身分の収支構造(身分出費の話等)や身分制度崩壊への道筋まで明らかにするという視点も興味深かった。
SOUTHERN (° D°)!	3-104, 157-216	第五章にして関して
2008/06/27 11:13:12	162P (180分)	ざんぎり頭をたたいてみれば文明開化の音がするなんていう時代、今までの正義たるものがドカンと変わった時代、武士は士族となった。歴史の教科書で習ったとき士族はいいのかな?なんておもってたんですが、実際の生活はいろいろな人から無視されたりして、経済的自立をしようと起業して失敗するリスクもあってなかなか微妙な位置に放り出された立場のつらさを感じました。
	159-176	
マーシャル	3-218	詳細に記録に残された家計簿から浮かび上がってくる幕末の武士の暮らしがリアルに描かれていて面白かった。時代の変化を乗り越えるには、実用的な知識が必要なんだと深く実感させられた。
2008/06/23 12:45:29	216P (180分)	
	45-103	
特になし	1-216	意外と武士の生活も楽じゃなかったんだなぁと思いました。
2008/06/19 11:30:41	217P (200分)	家計簿からたくさんの中を読み取れることのすごさ、またそれだけの詳細な家計簿をつけた猪山さんには感服です。
	101-103	
SEM	3-103、129-218	本来は陪臣の身分だった猪山家が会計の特技を生かして徐々に出世していく話を当時の家計簿から紐解いていくといった感じです。
2008/06/09 21:35:31	191P (150分)	幕末から明治に時代が移る中で生活に苦労した一般的な士族とは異なり、猪山家は時代に適応していたというのはとても興味深かったです。
	129-	
本多小松	3-218	江戸時代から明治維新と激動の社会変化に生活を乱された藩士たちの苦労が読み取れる。加賀藩の会計役の残した家計簿が元になり話が進められている。なかなか当時の藩士の金銭面での苦悩が読み、江戸在住を強いられた地方下級武士たちの身分に見合わないその出費が生活苦を作り出しその結果莫大な借金を抱えた。そのため生活を大改革して借金を返し、その後も繁栄をつづけた、そ
2008/06/06 09:41:54	216P (160分)	

	直之に関して	んな話です。
ivane	3-6,15-44,139-176,206-218ページ	武士の家計簿の詳しい紹介や、猪山家の生活や暮らしに関する記述よりも、その時代の算術と身分制度の関係について言及している箇所に興味を持ちました。理系だからですかね。パラパラとでもいいから読んでみる価値はあると思います。
2008/05/30 08:43:17	85P (60分)	
	21-23ページ	
tormenta	47-126ページ	当時の家計簿を詳しく解説してくれています。 本に出てくる事柄を現在のことに当てはめて考えながら読むと、おもしろいかもしれません。 かるーい感じで読めました。
2008/05/27 16:41:19	80P (100分)	
	47-103ページ	
かごしま	3-103ページ	この本では、「金融」という切り口から、江戸末期～明治初頭を描いています。 高校で習った「日本史」と異なるのは、時代を「加賀藩の御算用者、猪山家」の視点から描いている点です。 ある1家庭の目線から見ると、時代背景がかなり理解しやすくなっています。 「現在の感覚だところ」といった感じに書かれている点も理解を助けてくれます。
2008/05/14 12:20:33	101P (80分)	
	21-23ページ	
P-ball	1-103	まさか武士の家計簿を目の当たりにする機会があるとは思っていませんでした。歴史ものは固い文章という先入観がありましたが大変読みやすかったです。家計が切羽詰っている感がリアルでした。
2008/05/03 00:27:28	103P (70分)	
	56-63	

[TOPへ](#)